

## 計画段階評価

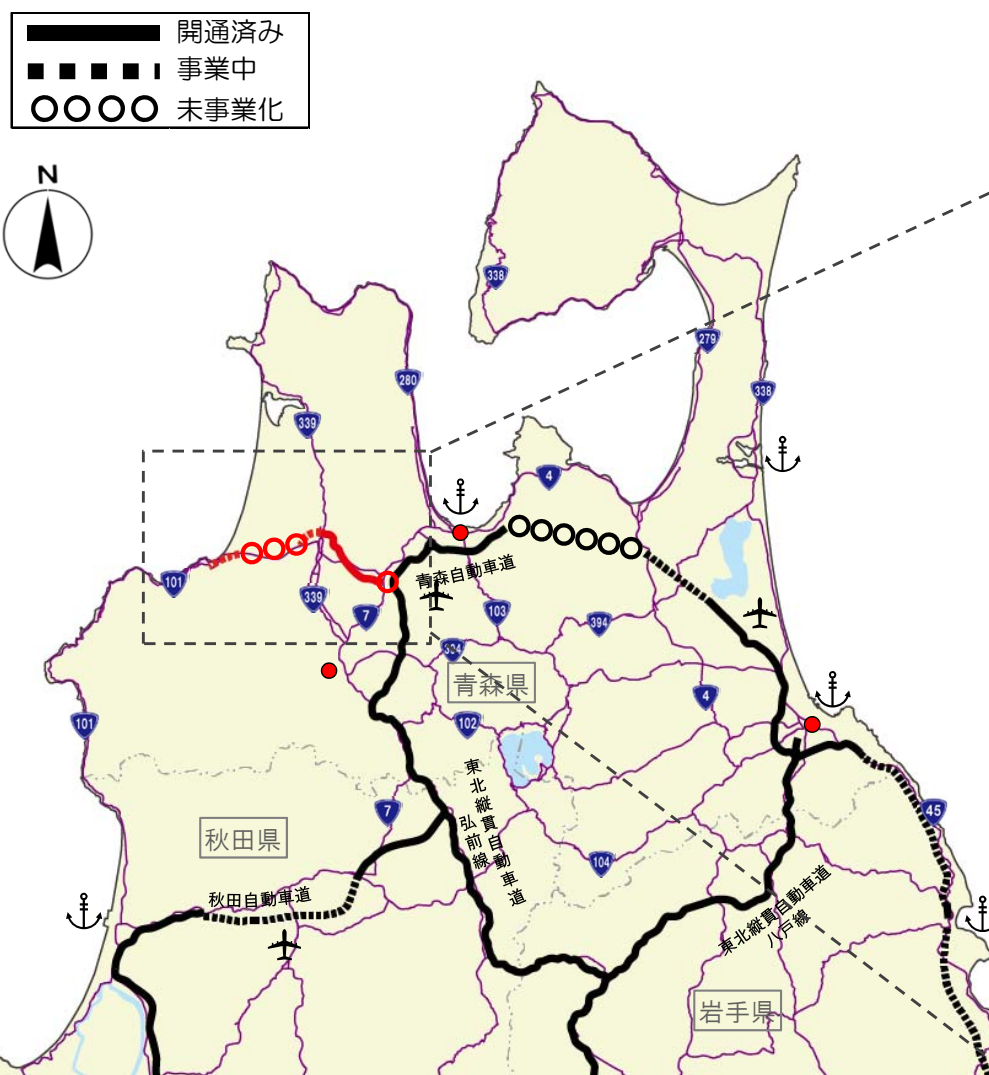
### 目 次

1. 津軽自動車道の概要	・ ・ ・	1
2. 地域の概要	・ ・ ・	2
3. 地域の状況と課題	・ ・ ・	7
4. 道路交通の状況と課題	・ ・ ・	13
5. 政策目標の設定	・ ・ ・	20
6. 今後の手続きの進め方	・ ・ ・	24
7. 地域からの意見聴取方法	・ ・ ・	25

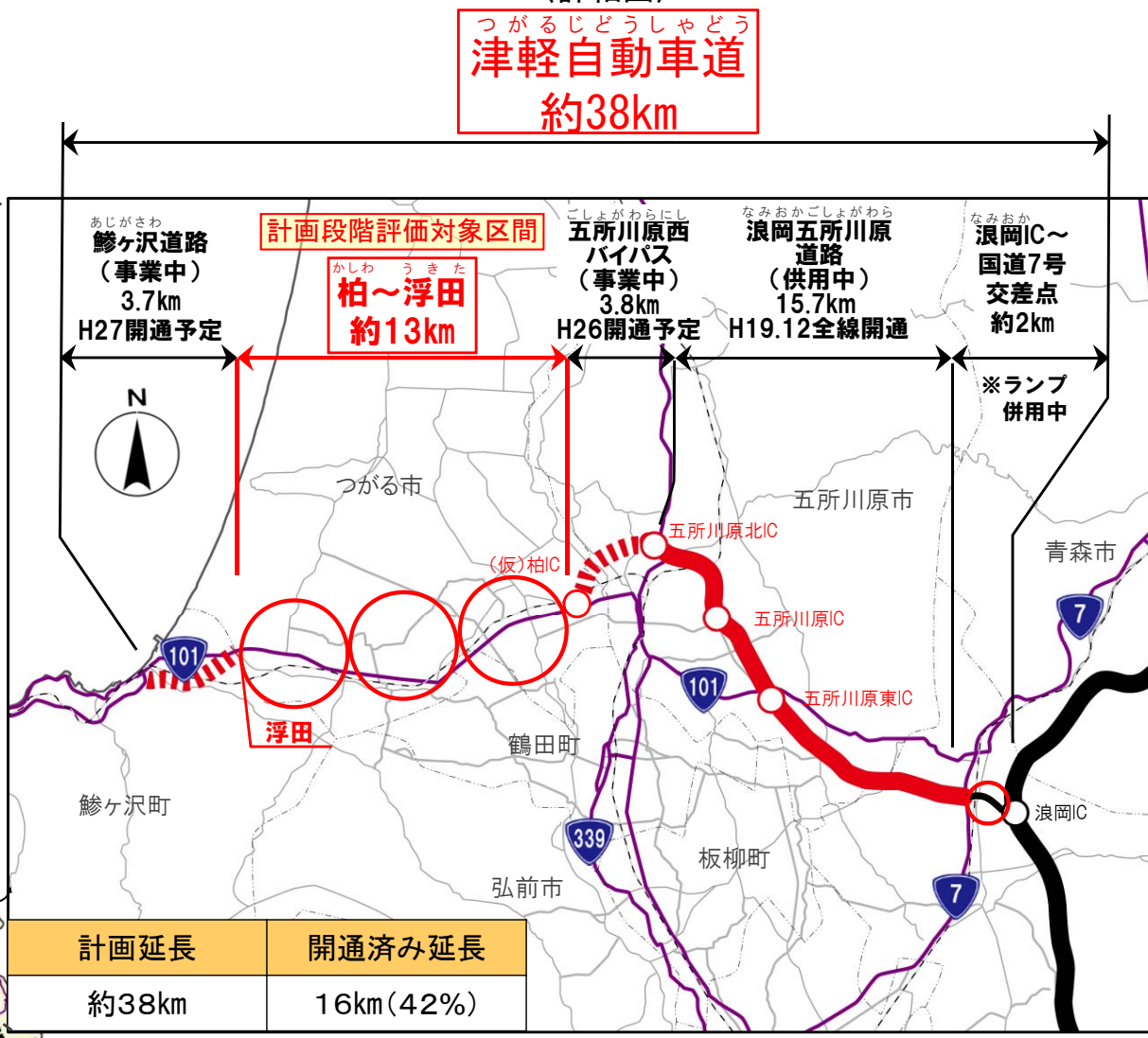
# 1. 津軽自動車道の概要

- ◆津軽自動車道は、東北縦貫自動車道弘前線の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路であり、16km（42%）が開通済み
- ◆今回の対象区間は、現在事業中の五所川原西バイパスの終点部（五所川原市）から鱒ヶ沢道路の起点部（鱒ヶ沢町）を連絡する「柏～浮田」区間

〈広域図〉



〈詳細図〉



# 2. 地域の概要 (位置)

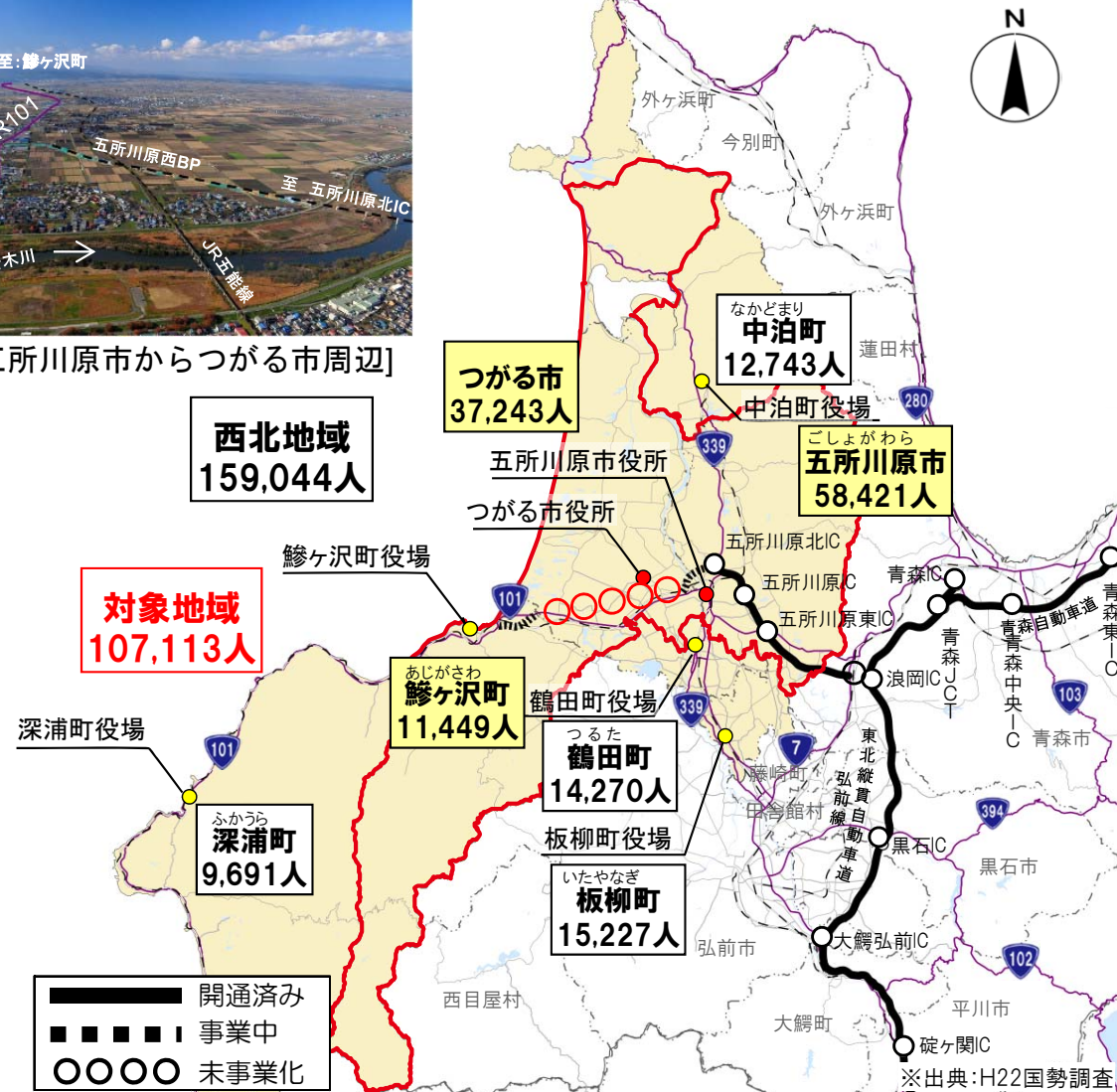
- ◆対象地域は県都青森市から西へ約50km帯に位置し、計画区間沿線の青森県五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町の2市1町
- ◆日本海沿岸に面し、岩木山のふもとに広がる広大な津軽平野の中に市街地と豊かな水田地帯を形成する地域

〈位置〉



[青森県五所川原市からつがる市周辺]

〈対象地域の市町村〉



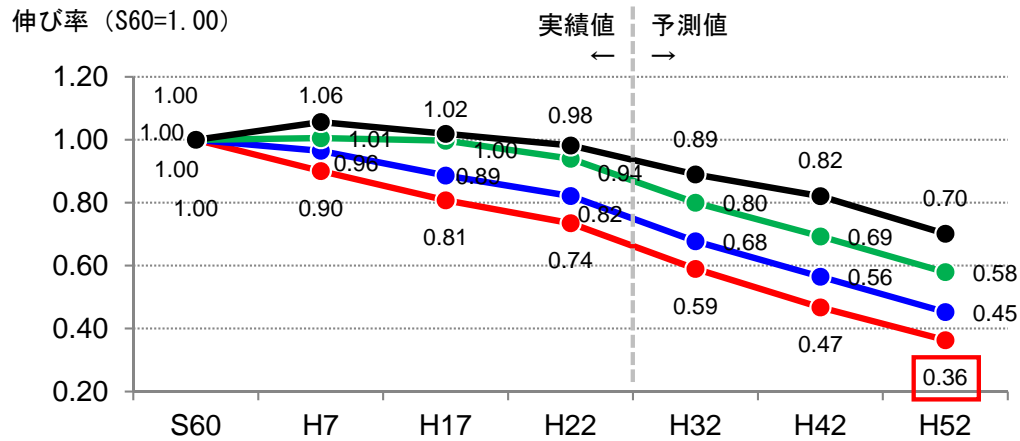
市町名	人口	県全体に対する割合
五所川原市	58,421人	4.3%
つがる市	37,243人	2.7%
鱒ヶ沢町	11,449人	0.8%
対象地域計	107,113人	7.8%
青森県	1,373,339人	100%

※出典：H22国勢調査

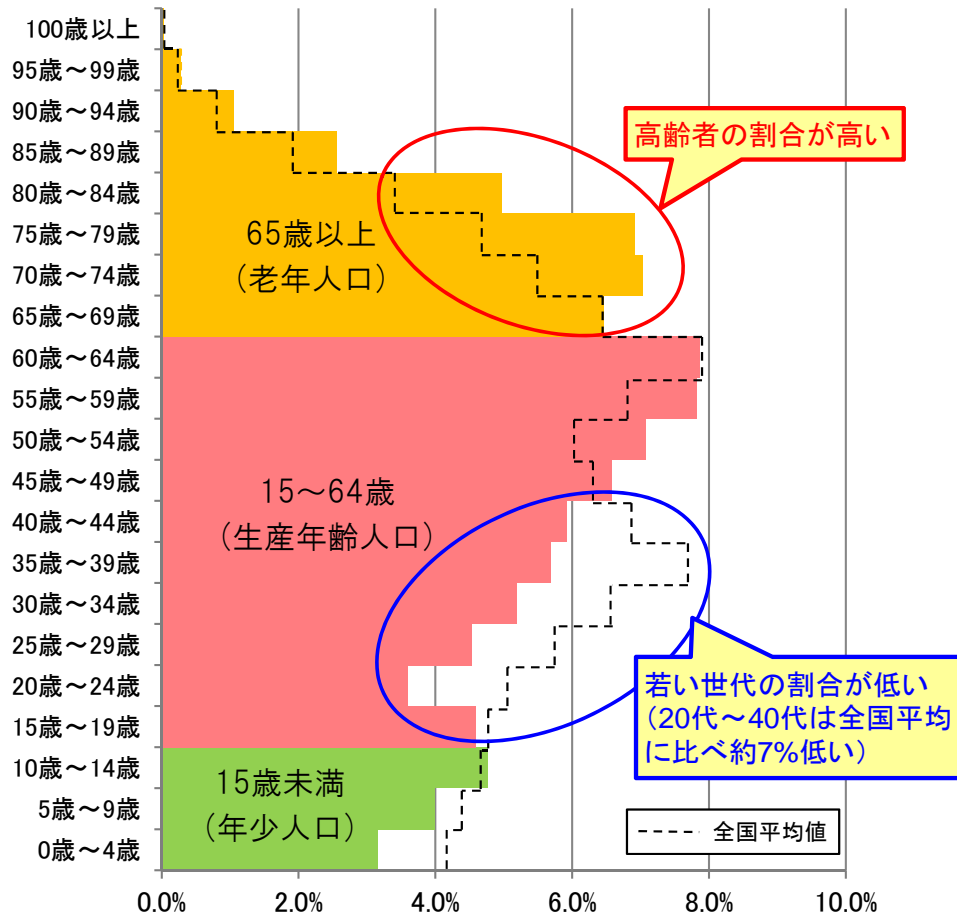
# 2. 地域の概要 (人口)

- ◆対象地域の人口は全国及び東北全体を上回るペースで減少
- ◆さらに、高齢者割合も全国や東北、青森を上回っている上、全国より、10年程度早いペースで高齢化が進行
- ◆生産年齢人口の減少も顕著

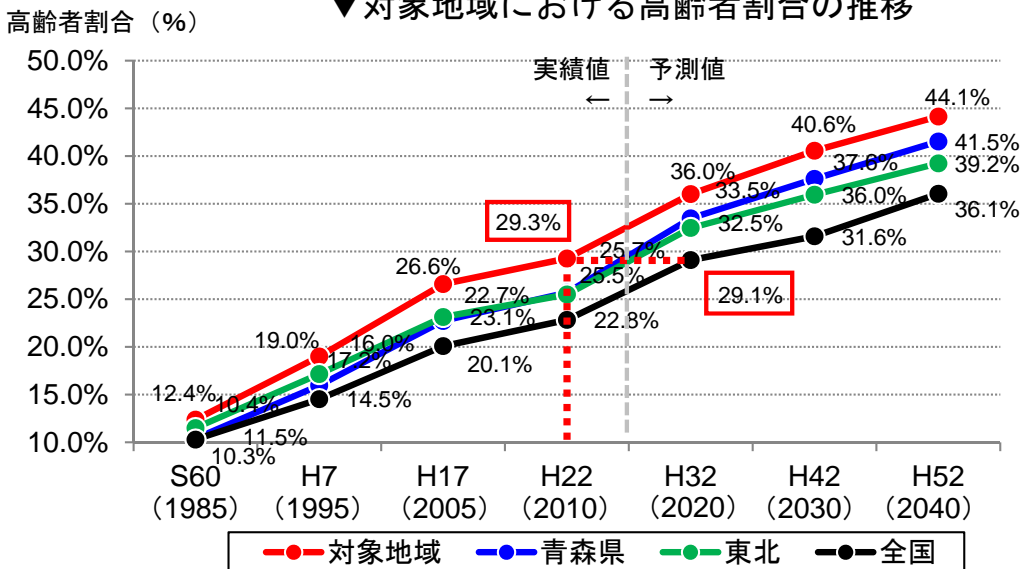
▼人口推移と伸び率の比較



▼対象地域の年齢別人口構成 (H22国勢調査人口)



▼対象地域における高齢者割合の推移



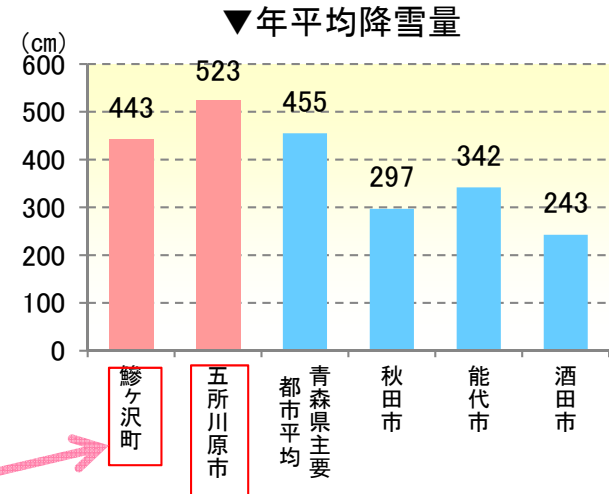
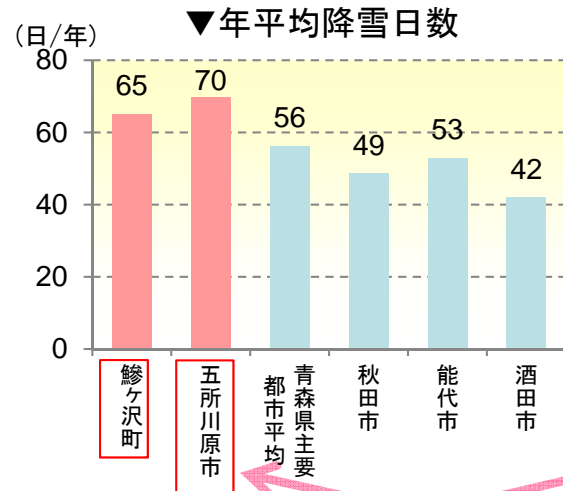
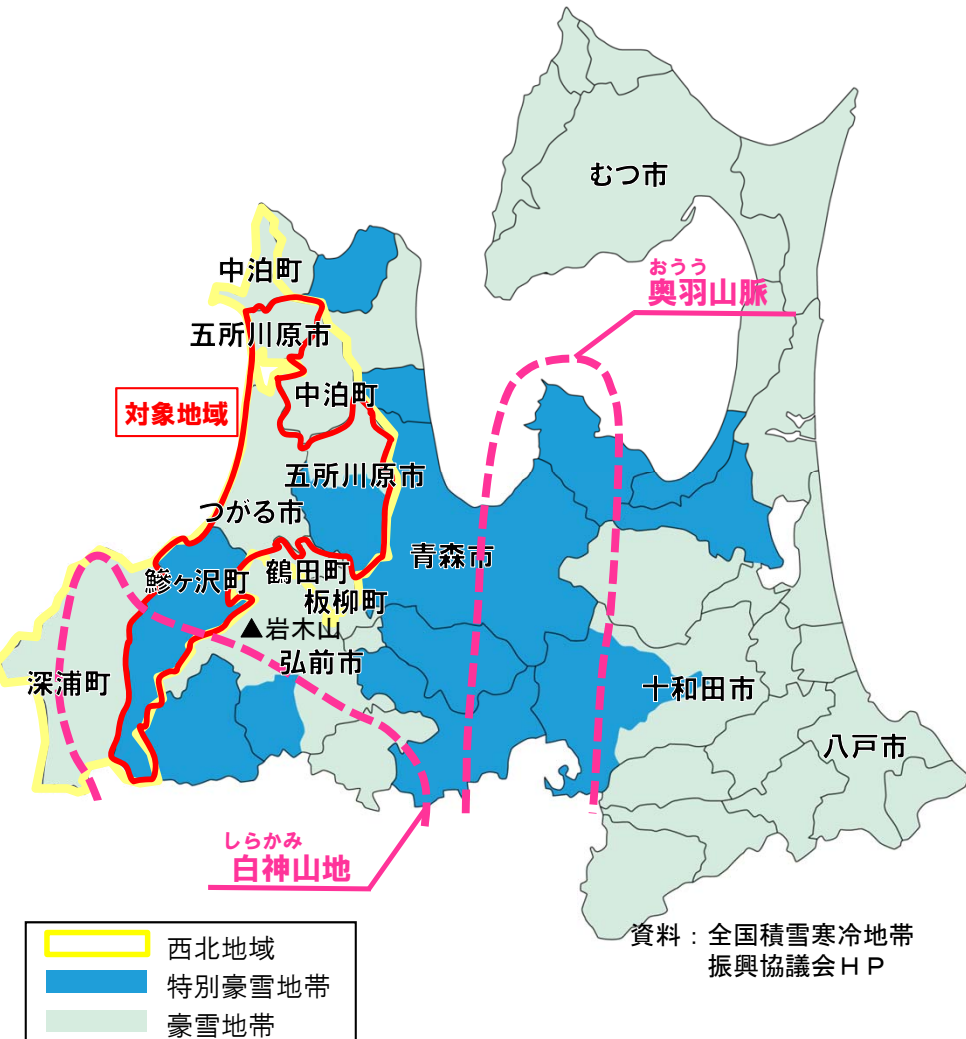
※対象地域：五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町

資料：【実績値】「国勢調査」総務省、【予測値】日本の地域別将来推計人口 (平成25年3月推計) 国立社会保障・人口問題研究所  
 ※将来推計人口は、出生中位・死亡中位推計の結果に基づく

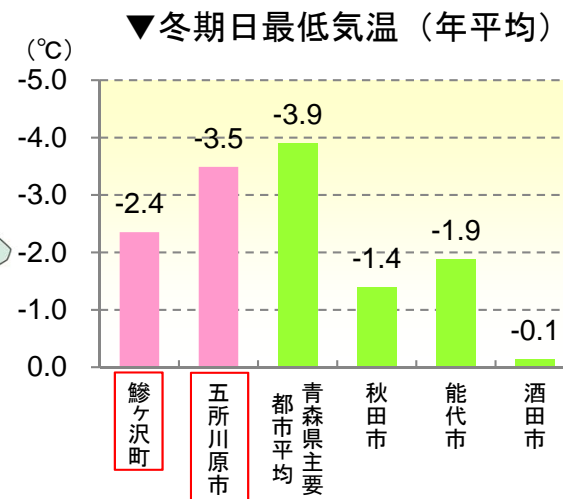
# 2. 地域の概要 (気象条件1)

- ◆対象地域は日本海に面し、白神山地や奥羽山脈に囲まれた地域であり、五所川原市と鱒ヶ沢町が特別豪雪地帯
- ◆鱒ヶ沢町や五所川原市は東北地方の日本海沿岸地域と比較して、降雪日数・年間降雪量ともに多く、冬期日最低気温が低く、冬期には日本海側からの西～西北西向きの風が卓越し、冬期の風速は夏期の約2倍

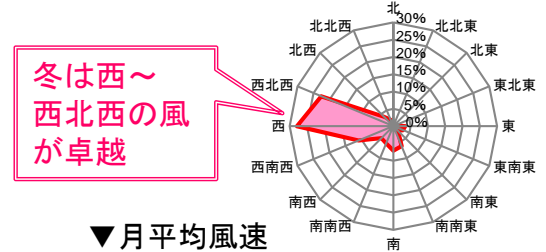
〈豪雪地帯の指定状況〉



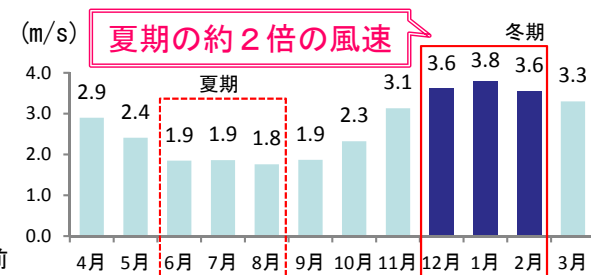
鱒ヶ沢町・五所川原市は、降雪日数・降雪量ともに多い地域



▼冬期日最多風向の割合



▼月平均風速



※青森県主要都市平均は、各生活圏の中心都市（青森市、弘前市、八戸市、十和田市、むつ市、五所川原市）の平均値

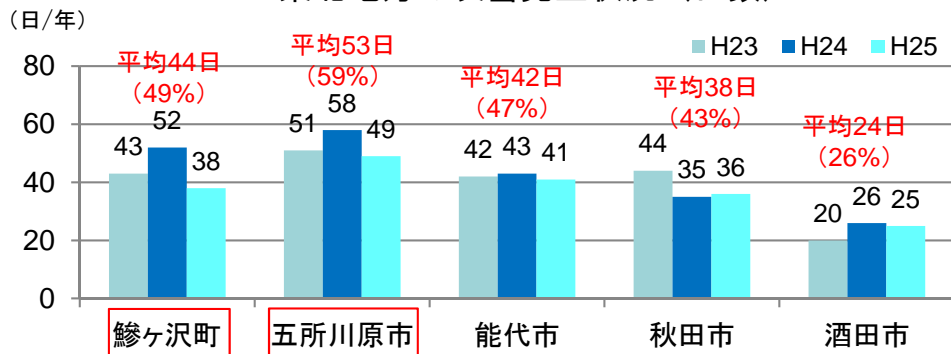
資料：気象庁気象データ (H16～H25)

# 2. 地域の概要 (気象条件 2)

- ◆対象地域を通過する国道101号は、地吹雪が冬期日数の約5～6割発生し、厳しい気象条件 (気象データより)
- ◆今回の対象区間では、地吹雪や吹雪による道路交通への影響が大きい状況

〈日本海沿岸東北地方の吹雪発生状況〉

▼東北地方の吹雪発生状況 (日数)



資料：気象庁  
H23～H25気象データより  
吹雪の発生条件となる  
日数を抽出

▼抽出気象条件

気温	降雪あり	降雪なし
0～-5℃	6m/s以上	11m/s以上
-5℃以下	5m/s以上	10m/s以上

※吹雪となる気象「雪氷調査法」北海道大学図書刊行会

〈国道101号の地吹雪状況〉



[視界不良時は低速走行]



[吹雪による視界不良により走行が困難]

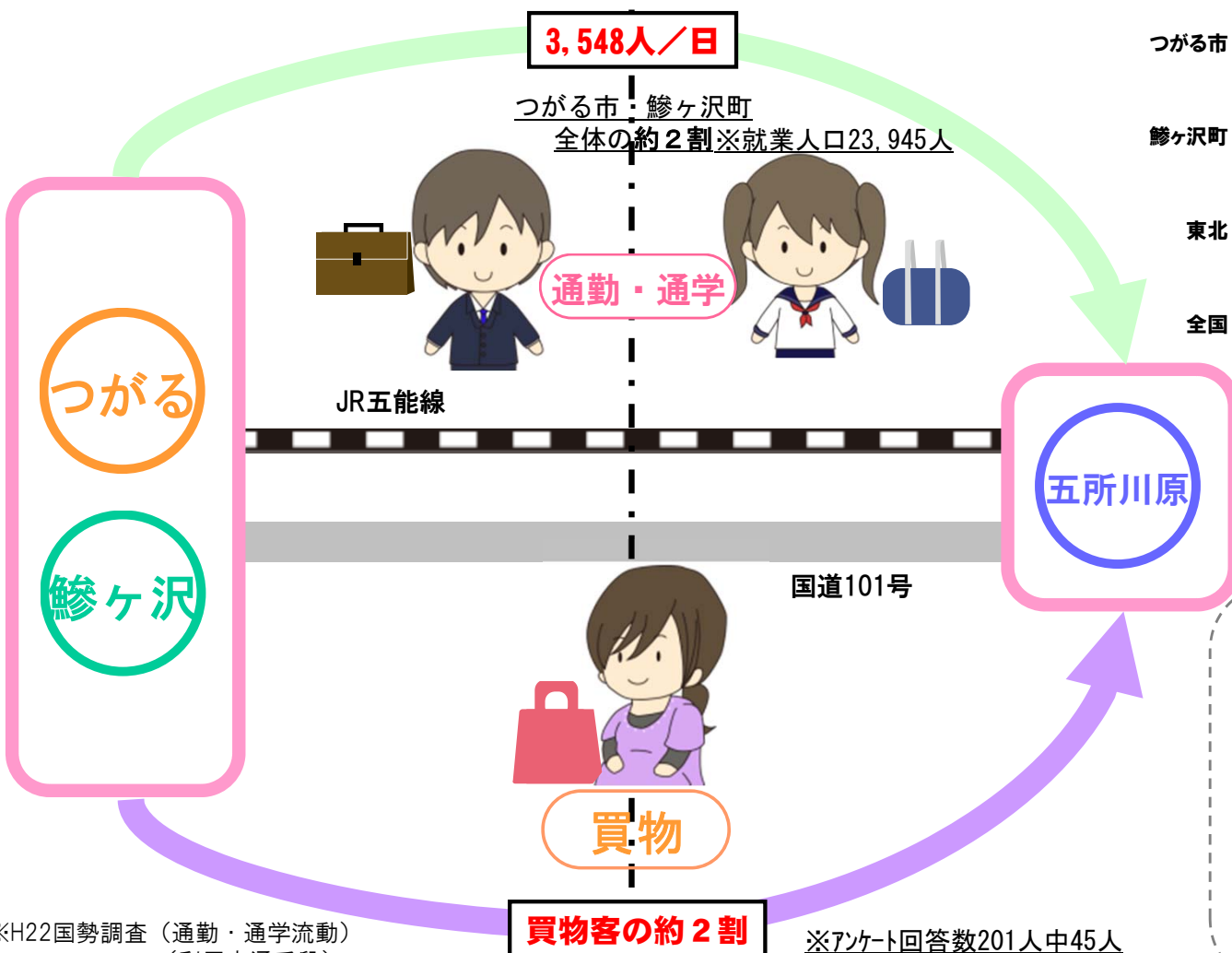


[堆雪により車道を歩行]

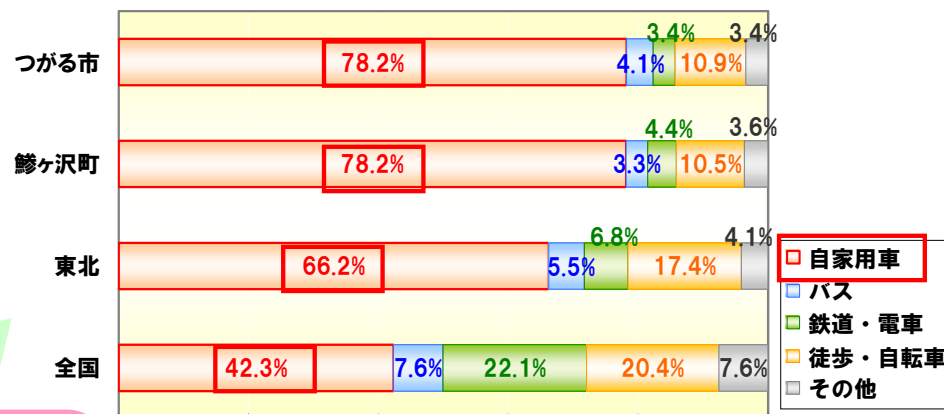
# 2. 地域の概要 (地域間交通の状況)

- ◆対象地域間では、通勤・通学や買い物など、五所川原市へ依存した日常生活交通が存在
- ◆地域間流動を支える交通網は国道101号とJR五能線であるが、JR五能線は自然災害（大雨・大雪）に脆弱な路線であり、通勤通学の移動手段が自家用車に依存しているため、国道101号が地域間を結ぶ重要な移動経路

▼地域間流動状況



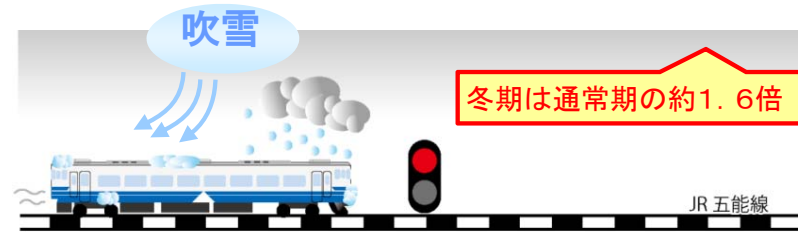
▼通勤・通学時の移動手段



このう  
▼JR五能線の運休状況

H25年度の運休本数  
H25.4～H26.3の1年間で **127本**

●1ヶ月あたりの運休本数  
通常期(3月～11月)：計84本(約9本/月)  
冬期(12月～翌2月)：計43本(約14本/月)



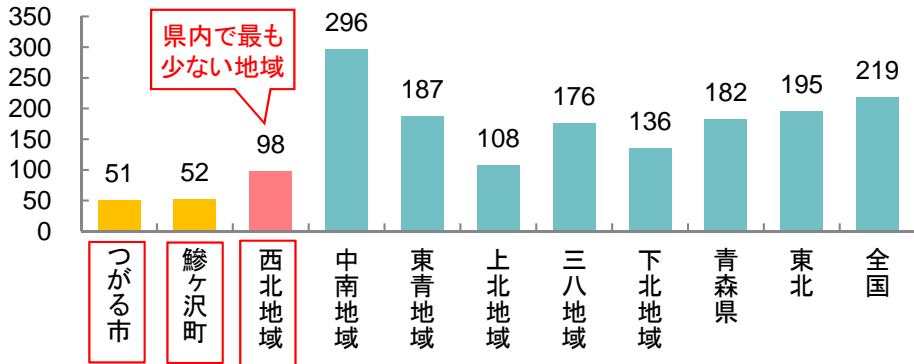
出典：新聞記事より集計 (H25.4～H26.3)

※H22国勢調査(通勤・通学流動)  
(利用交通手段)  
※H18青森県(消費購買動向による商圈調査)

# 3. 地域の状況と課題 (医療：第三次救急医療)

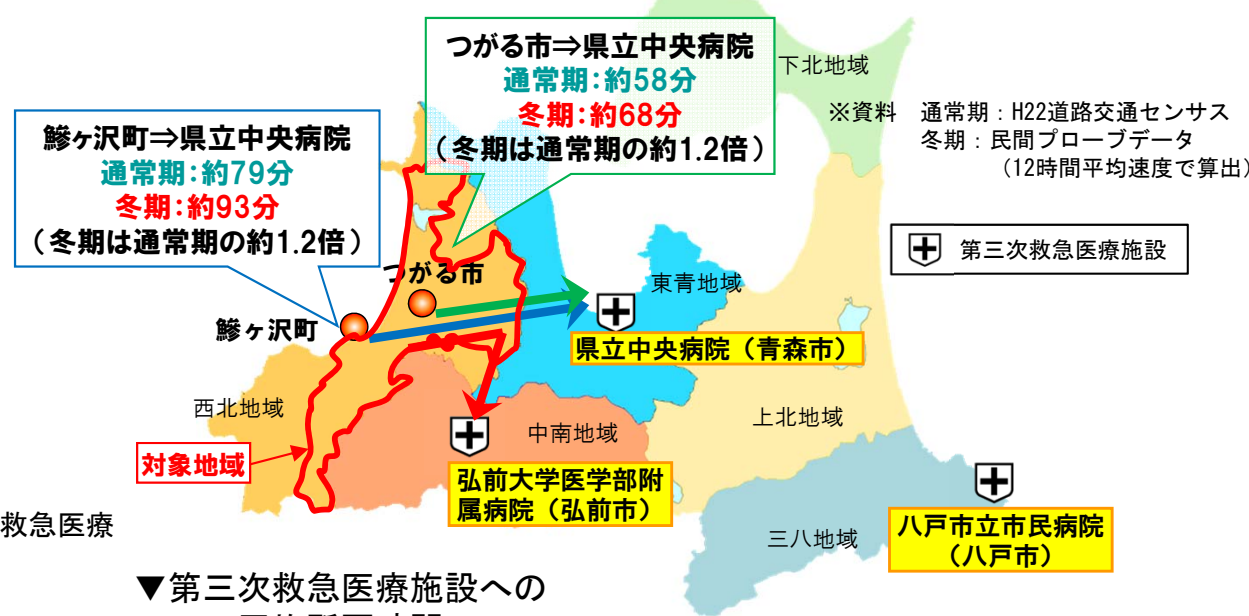
- ◆ 医師数及び自地依存率が低く、第三次救急医療施設への搬送所要時間は県内で下北地方に次いで県内で2番目に遠い
- ◆ 対象地域は第三次救急医療施設への搬送時間が長い上、冬期は搬送時間が通常期よりも1.2倍に増加
- ◆ つがる総合病院開院後 (H26. 4. 1) も脳梗塞等緊急を要する脳神経外科は未対応のため県立中央病院まで搬送が必要

▼人口10万対医師数 (H22)

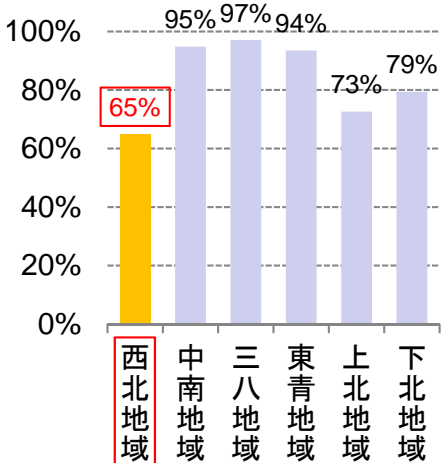


※人口10万対医師数：医師数/人口×10万  
 医師数：医師・歯科医師・薬剤師調 (H22)、人口：国勢調査 (H22) 総務省

▼青森県内の第三次救急医療施設の位置

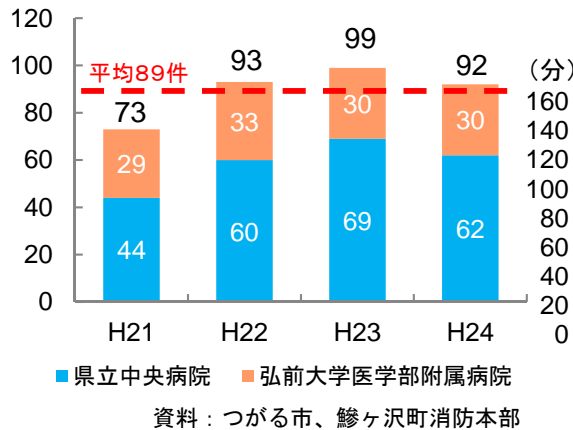


▼自地依存率

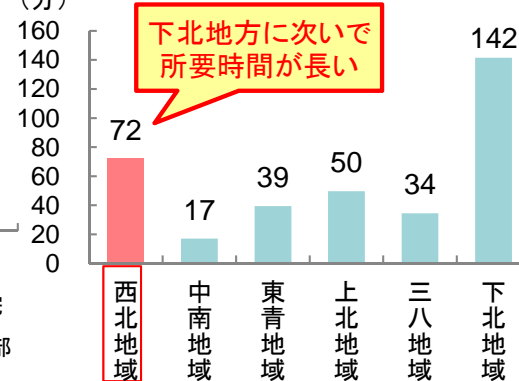


※自地依存率：当該圏域内の医療施設を受療する率  
 出典：青森県地域医療再生計画 (西北五地域保健医療圏H22)

▼鱒ヶ沢町・つがる市から第三次救急医療施設への救急搬送件数



▼第三次救急医療施設への平均所要時間



※資料：H22道路交通センサス (12時間平均速度で算出)

◆ 地域の声  
 ・ 冬期間の搬送時間は通常時の約1.5倍。吹雪や路面凍結など、救急隊員、患者にとって多大な負担となっている。  
 (つがる市消防本部警防課 救急救命士 H25. 8)

◆ つがる総合の病院コメント  
 ・ 人工透析や脳神経外科は患者一人一人へのきめ細やかな対応を求められる高度な医療だが、常勤医を確保できず、段階的に暫定運用している状況。(つがる総合病院ヒアリング平成26年7月)



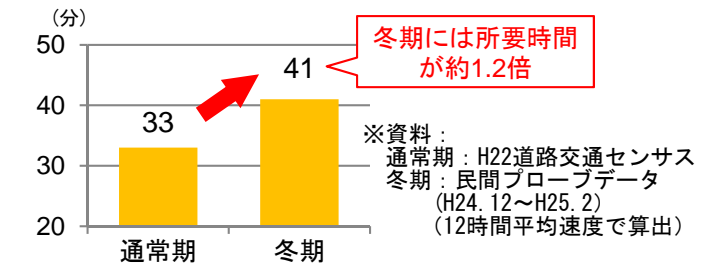
# 3. 地域の状況と課題 (医療：地域医療)

- ◆ 対象地域を含む西北地方における医療再編により、高度な入院機能を集約したつがる総合病院が五所川原市に移転開業（平成26年4月1日）
- ◆ 冬期間は搬送時間が通常期よりも1.2倍
- ◆ 鱒ヶ沢町内で診療が出来ない科目は、つがる総合病院へ車で通院している状況であり、国道101号を利用している通院者は、冬期の視程不良等の中での通院に対して不安に感じている

▼ 鱒ヶ沢町・つがる市を經由するつがる総合病院への搬送ルート



▼ 鱒ヶ沢町からつがる総合病院への所要時間

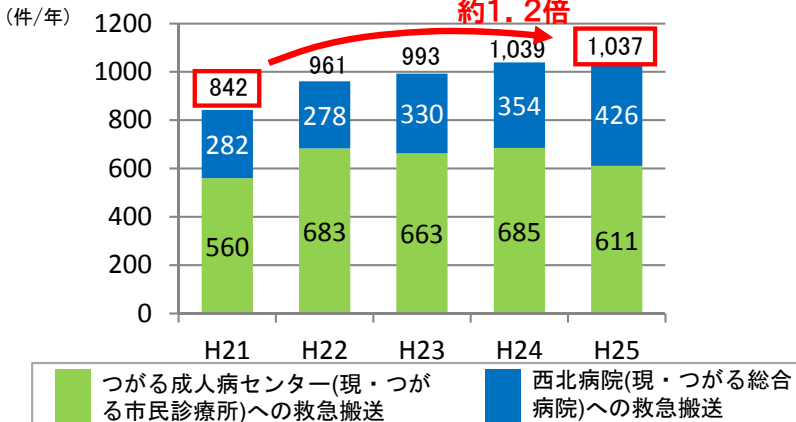


▼ 鱒ヶ沢町内で受診できない診療科目

町外へ通院	
産科	脳神経外科
人工透析	

つがる総合病院で対応予定  
 人工透析や脳神経外科は対象地域で初の診療科目  
 ※現時点では担当医不足のため暫定運用

▼ つがる市、鱒ヶ沢町から各救急医療施設への搬送件数



◆ つがる総合病院来院者の声

- ・ 冬期の視程不良の中での運転が怖い。
  - ・ 旧森田村の辺りが吹雪くため危険を感じている。
  - ・ 冬は吹きだまりができて運転が大変。
  - ・ 除雪が間に合っていないので走りづらい。
- (つがる総合病院来院者ヒアリング H26.7)

◆ 救急救命士の声

- ・ 冬期間の搬送時、道幅が狭いために道を譲りたくても譲れない状況や、路面のでこぼこにより揺れで救急車内での医療行為に支障を来すので困っている。
- (鱒ヶ沢消防署(救急救命士) H25.8)

# 3. 地域の状況と課題 (経済)

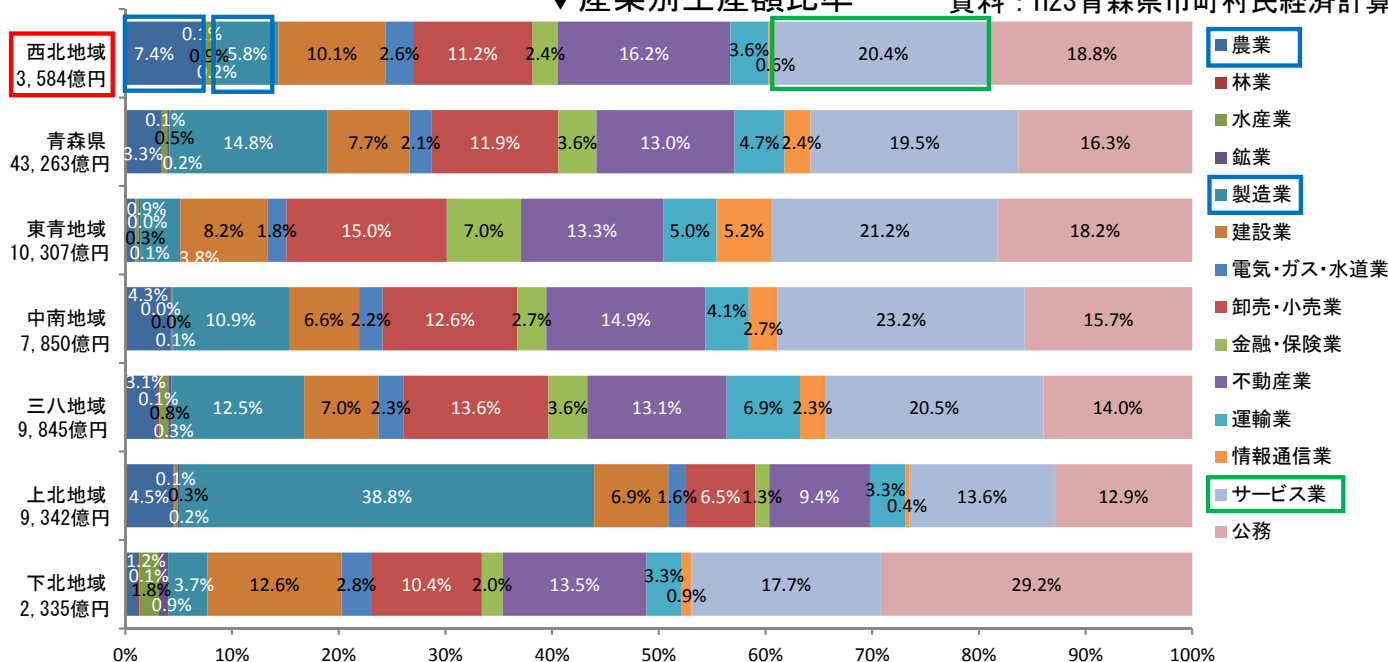
- ◆対象地域を含む西北地方では、下北地方に次いで2番目に低い生産額
- ◆また、観光を含むサービス業が最も高く、産業別生産額における製造業の比率は県全体の約3分の1
- ◆西北地域は人口一人当たり所得額が県内で最も低く、さらにつがる市、鯉ヶ沢町は地域平均よりも低い

▼青森県内の圏域と対象地域

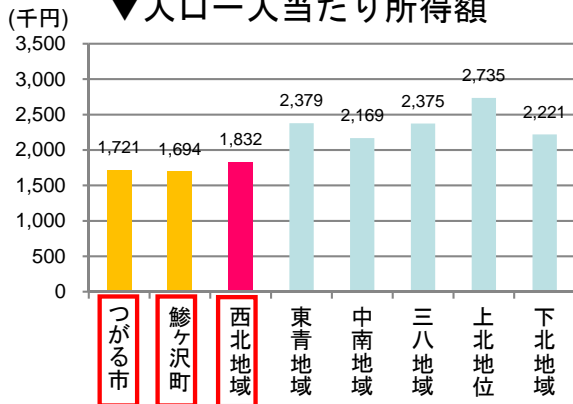


▼産業別生産額比率

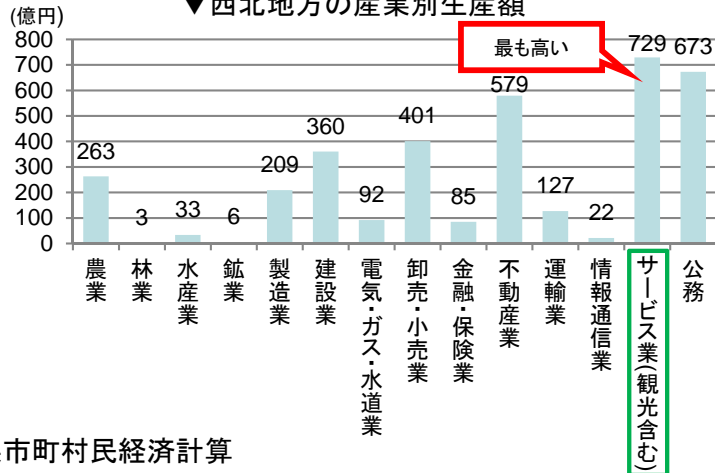
資料：H23青森県市町村民経済計算



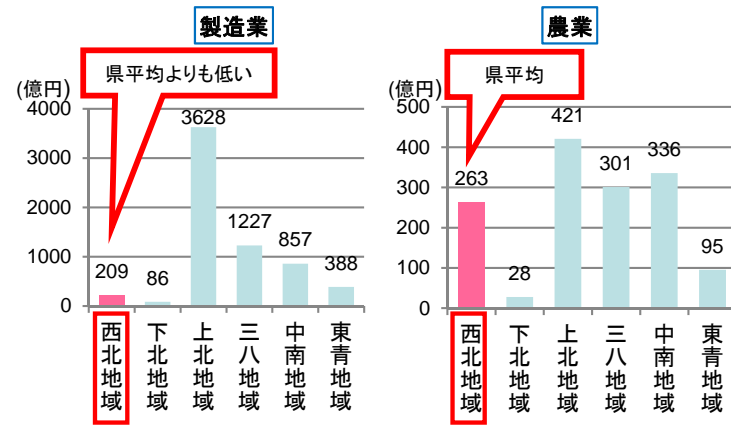
▼人口一人当たり所得額



▼西北地方の産業別生産額



▼対象地域及び各地方の製造業・農業生産額

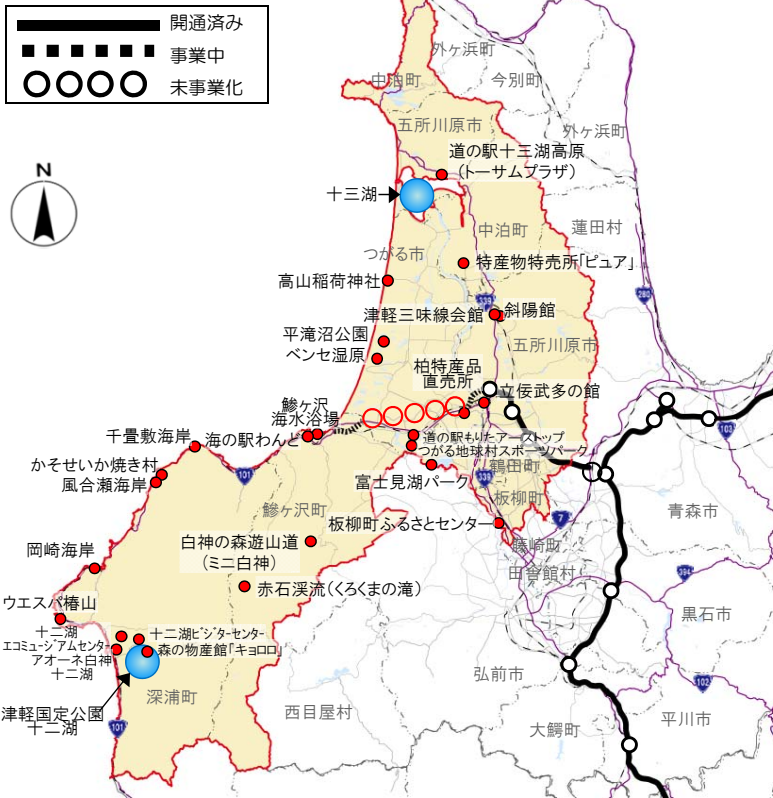


資料：H23青森県市町村民経済計算

# 3. 地域の状況と課題 (観光)

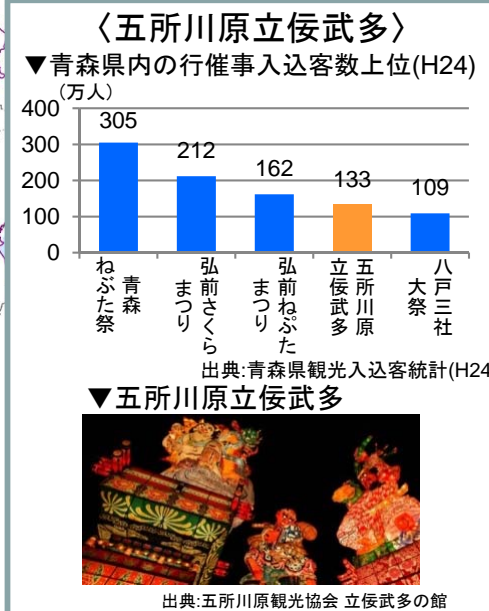
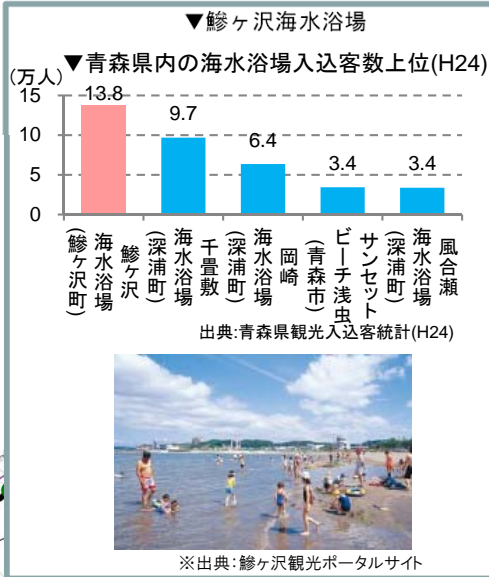
- ◆対象地域を含む西北地方には五所川原立佞武多（入込客数県内4位）や鱒ヶ沢海水浴場（海水浴場入込客数県内1位）、周辺には世界遺産白神山地や十二湖、十三湖等からなる津軽国定公園など、観光資源が豊富に存在
- ◆しかし、ICや新幹線駅など交通拠点からの時間距離が遠く、県内の他地域に比べ低い観光入込客数

〈西北地域の主な観光地〉

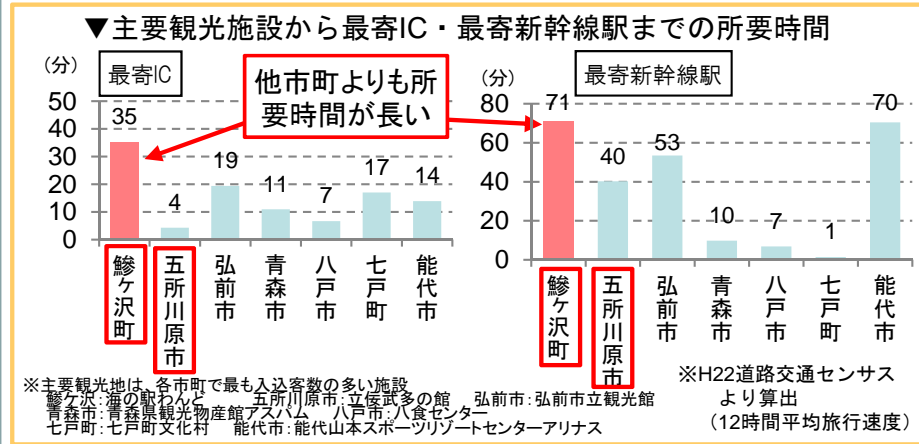
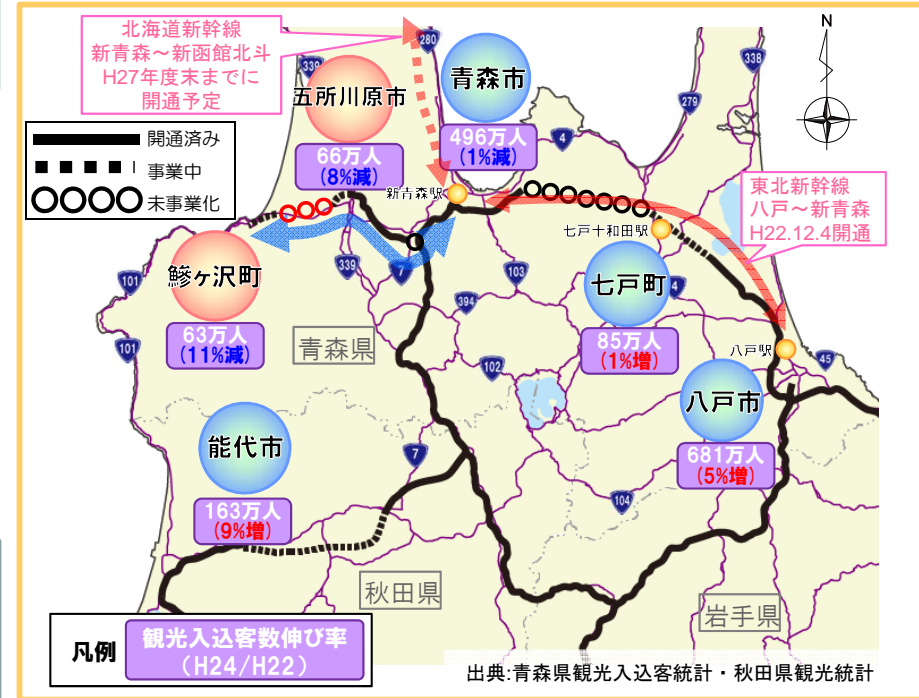


## ◆地域の声

・鱒ヶ沢町の重要な観光資源は世界遺産白神山地。新青森駅から鱒ヶ沢まで約1時間半かかり、観光客を呼び込むには時間距離が遠いことが一番の課題です。日帰りでも多くの観光客に訪れて貰えるようにしたいと考えています。  
(鱒ヶ沢町役場観光商工課 H25.6)



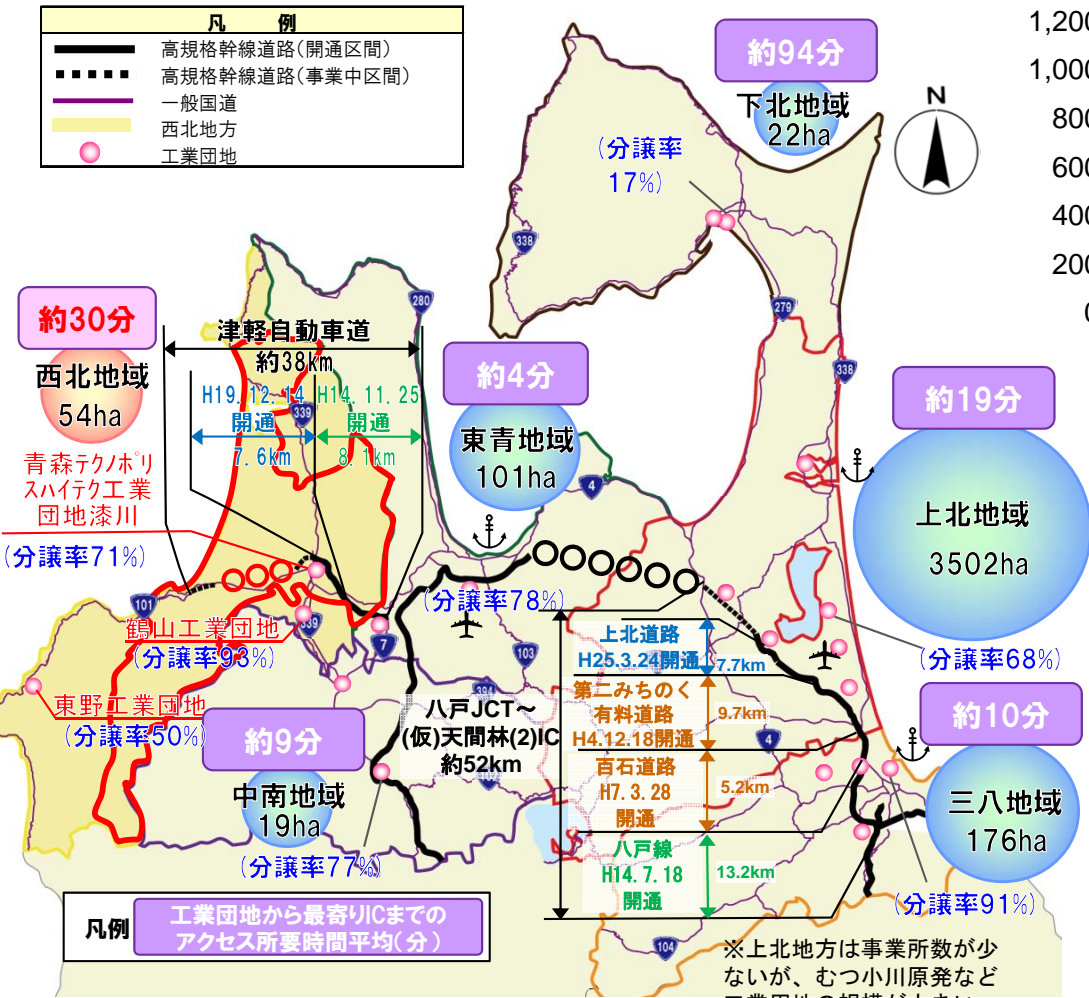
〈観光入込客数の変化〉



# 3. 地域の状況と課題 (企業立地)

- ◆対象地域を含む西北地方においては製造業の事業所数は下北・上北地域に次いで少なく、県平均よりも少ない状況
- ◆県内では高速道路の整備に伴い分譲率が増加

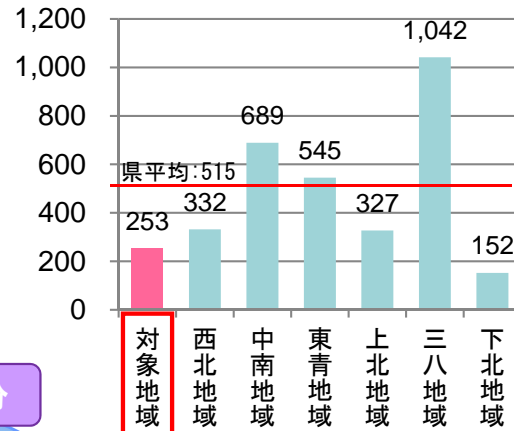
## ▼工業団地から最寄りICまでの平均アクセス時間



所要時間：H22センサスを基に算出

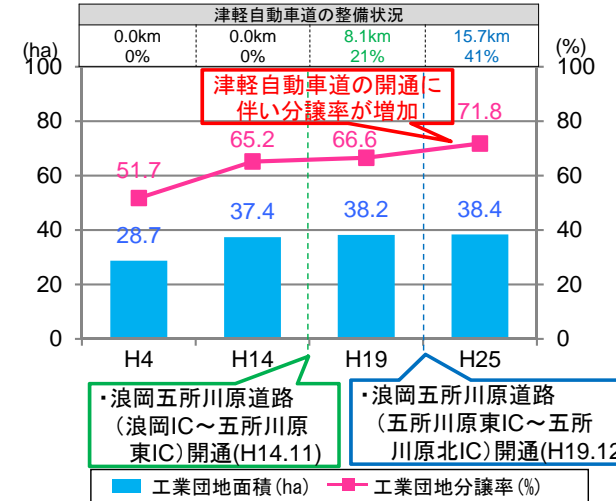
資料：青森県企業誘致推進協議会HPより

## ▼各地域の事業所数 (製造業)

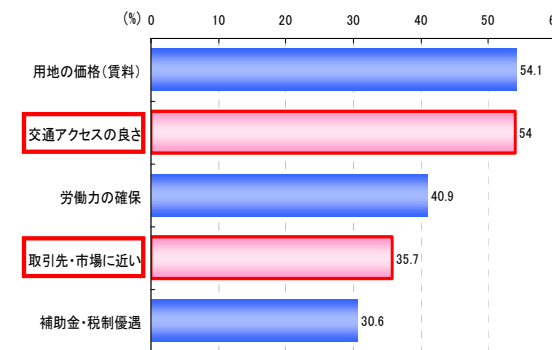


資料：H24経済センサス

## ▼高速道路延伸と工業団地分譲率の推移 <西北地域>



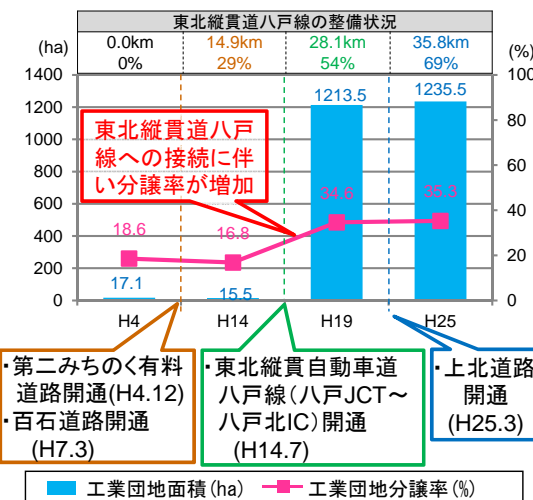
## ▼民間企業の企業立地の決定条件 (重視する条件)



資料：五所川原市 (H23企業立地意向調査結果)

※全国の製造業、印刷関連、運輸、鉄鋼業、通信業、通信サービス業などを対象とした調査結果 (上位5項目)

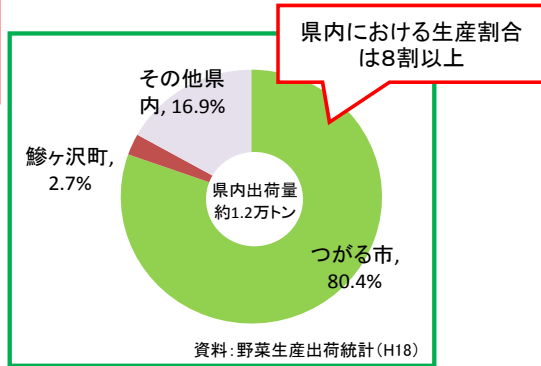
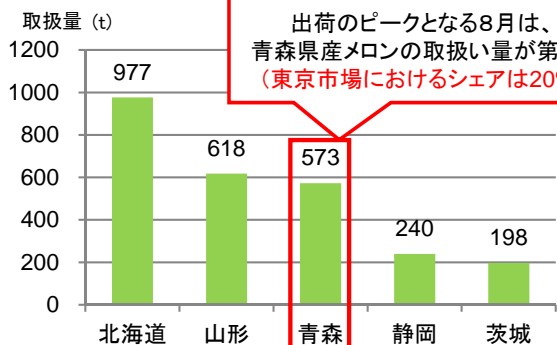
## <上北地域>



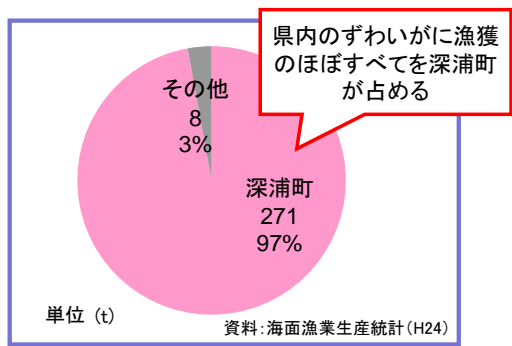
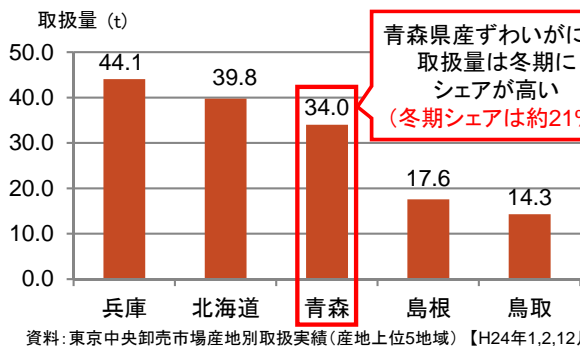
# 3. 地域の状況と課題 (農業・漁業)

- ◆ つがる市、鱒ヶ沢町は県内有数の「メロン」の産地であり、主に関東方面へ出荷
- ◆ 深浦町では冬に「ずわいがに」が多く漁獲され、主に関東方面へ輸送
- ◆ しかし、輸送ルートである国道101号は高速ICまでの間に信号交差点や主要渋滞箇所が多く存在し、冬の輸送は通常期よりも所要時間が増加

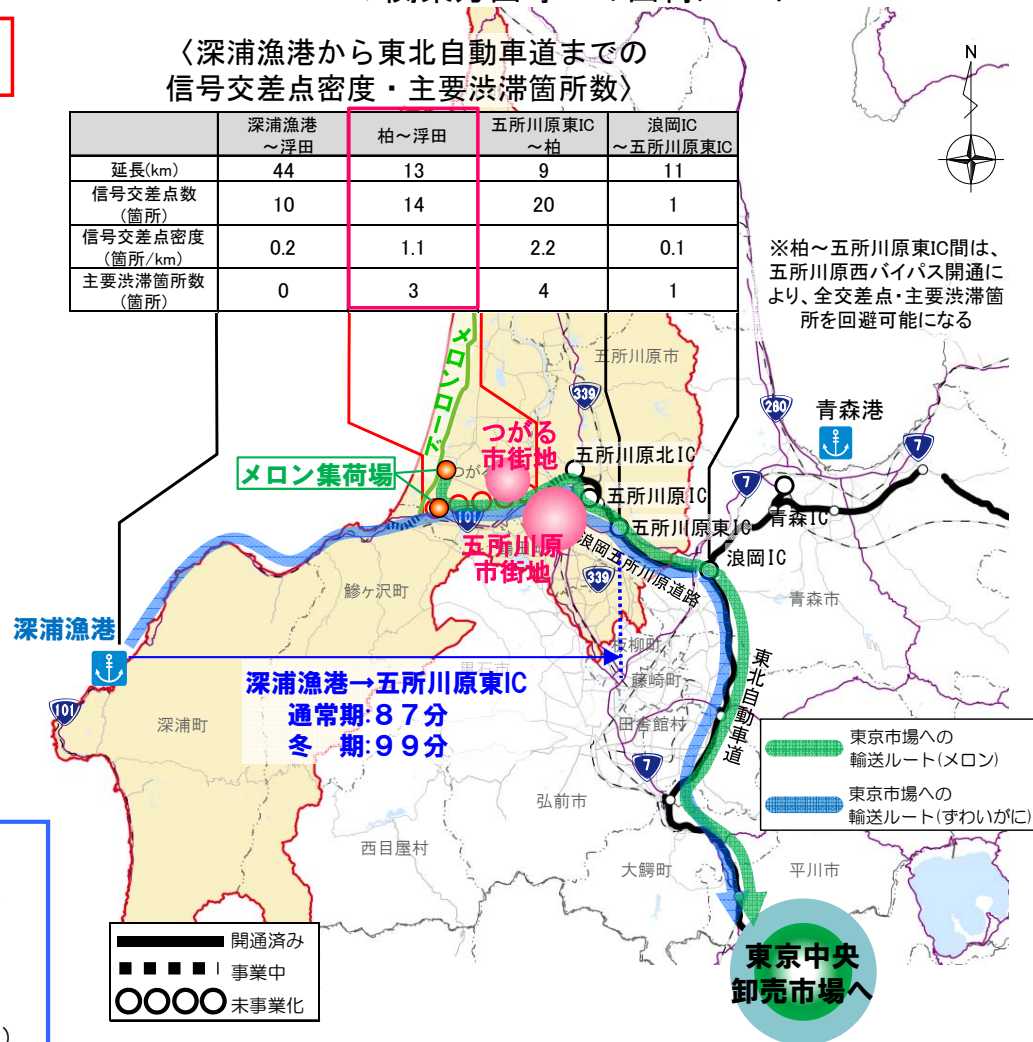
▼東京中央卸売市場におけるメロンの取扱実績



▼東京中央卸売市場における冬期のずわいがにの取扱実績



▼関東方面等への出荷ルート

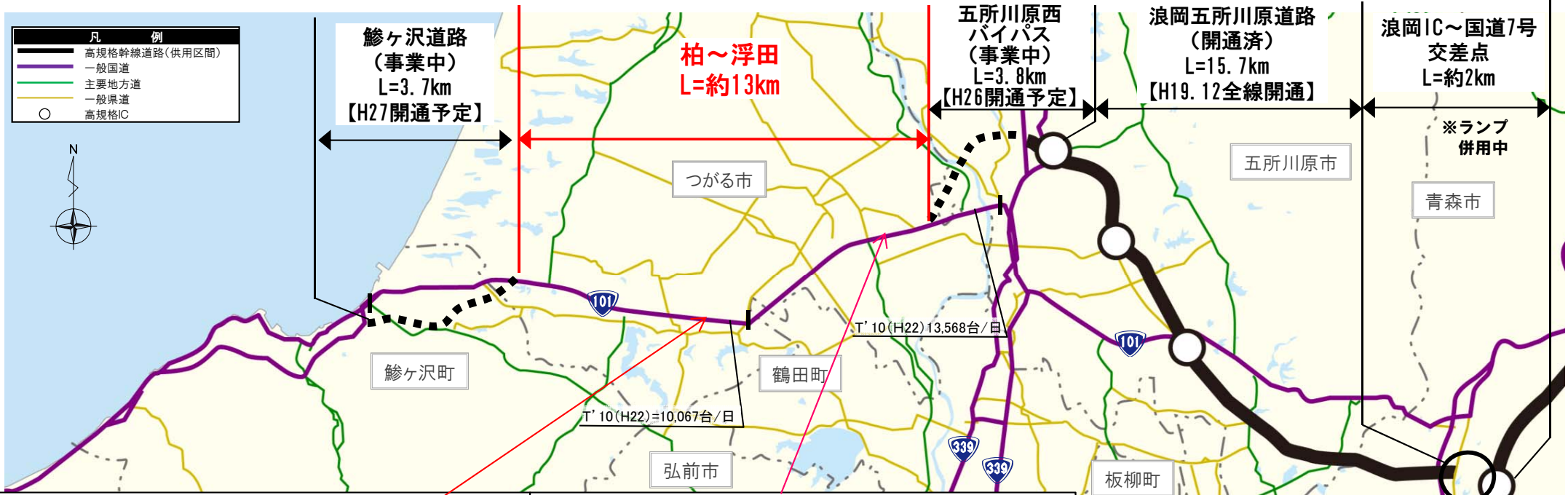


◆ 地域の声

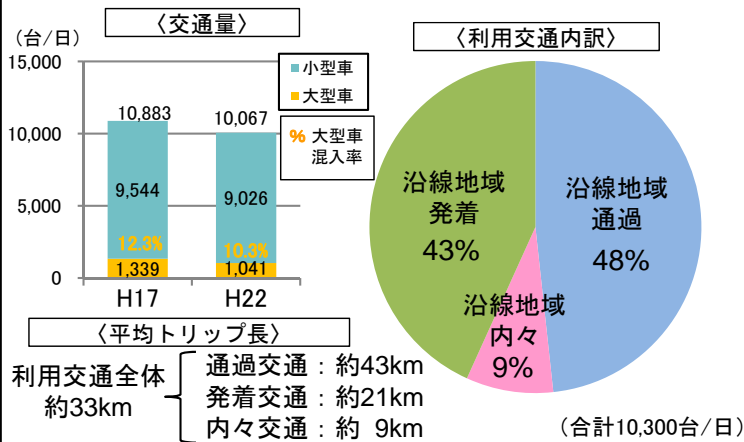
- ・ 国道101号は、冬期の吹雪と路面凍結が酷く、吹雪の時には防雪柵があっても先が見えず、立往生するときも多い。  
(新深浦町漁業協同組合 H24,H25)
- ・ メロンは東京市場に夜10時必着であり、輸送時間が約10時間かかるため集荷場を朝10時には出なければならず、少しでも積み込みの余裕時間を増やしたい。  
(JAつがるにしきた本店 H22)

# 4. 道路交通の状況と課題 (交通特性)

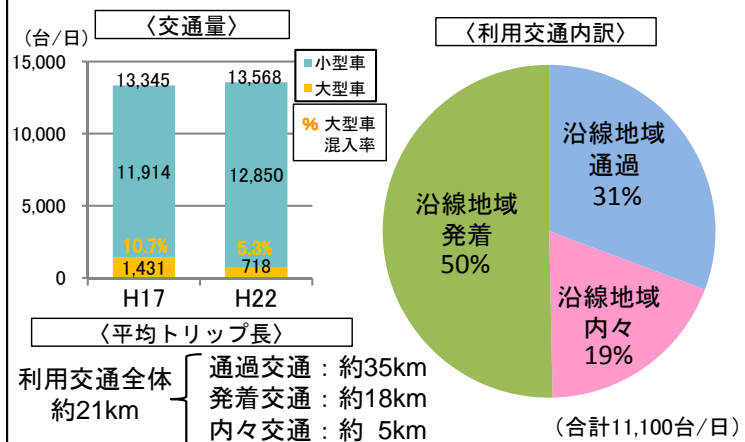
- ◆対象区間における交通量は約101~136百台/日であり、大型車は5~10%程度
- ◆国道101号は日本海側と内陸を東西に結ぶ主要幹線道路であるが、対象区間では物流・観光などの長トリップ交通と農耕車・通勤などの短トリップ交通が混在



▼森田～浮田区間の交通特性



▼柏～森田区間の交通特性



〈地域集約〉



# 4. 道路交通の状況と課題（幾何構造）

- ◆対象区間には急カーブや急勾配区間はないが、一部区間において車道幅員及び路肩幅員が不足する狭隘区間が存在
- ◆特に冬期には必要幅員が確保されていないため、路肩への堆雪により大型車のすれ違い困難などが発生

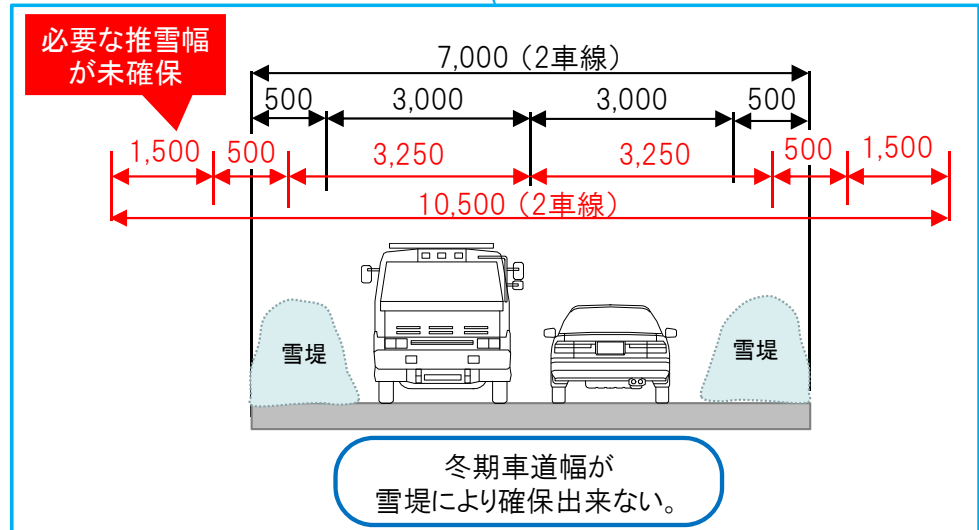
▼国道101号の道路状況



▲幅員狭小箇所【②】



▲幅員狭小箇所【①】



# 4. 道路交通の状況と課題 (旅行速度)

- ◆対象区間では大型商業施設付近の交差点での速度低下や、冬期の速度低下による主要渋滞箇所が存在
- ◆冬期間においては区間平均速度が37km/hまで低下し、さらに風が強く吹雪になる日は15km/hまで低下

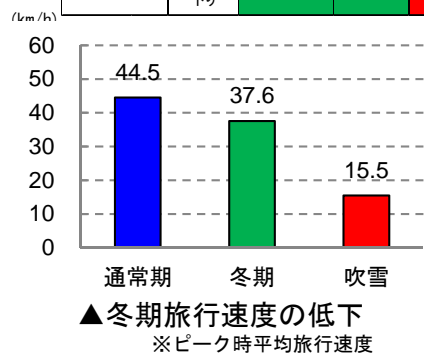
凡 例	
■■■■	事業中区間
—	一般国道
—	主要地方道
—	一般県道
■	主要地区・公共施設
■	その他集落・遺跡・環境保全箇所など



	km/h									
	0~20	20~30	30~40	40~50	50	50	50	50	50	50
通常期	上り	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
	下り	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
冬期	上り	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
	下り	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
吹雪	上り	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Red
	下り	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Red

Red	0~20km/h
Yellow	20~30km/h
Green	30~40km/h
Blue	40~50km/h
Light Blue	50km/h

[資料]  
民間プローブデータ  
[通常期]  
H25.10ピーク時平均  
[冬期]  
H24.12~H25.2降雪日ピーク時平均  
[吹雪]  
冬期間のうち特に気象条件の悪い日



▲地吹雪発生状況【③】



▲渋滞箇所【②】



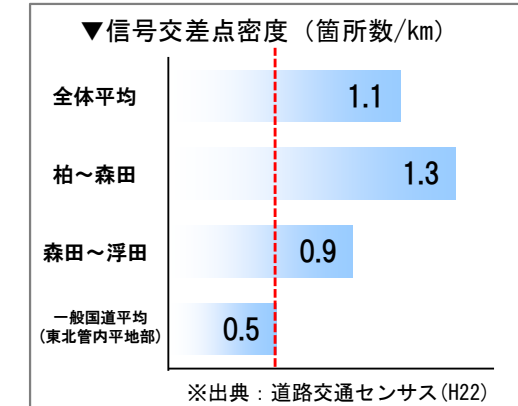
▲渋滞発生状況【①】(柏地内)



# 4. 道路交通の状況と課題 (沿道状況)

- ◆対象区間は沿道に大型商業施設や工業施設が連続するほか信号交差点も集中しており、交差点密度が国道平均以上
- ◆また、対象区間は沿道への出入り口が多く、特に森田～浮田間は信号のない出入り箇所が65箇所存在し、大半が水田からの出入りのため、農耕車の追い越し等で事故の危険性が高い等、幹線道路としての機能が脆弱である。

▼国道101号の道路・沿線状況



▲沿道農地出入り箇所【②】

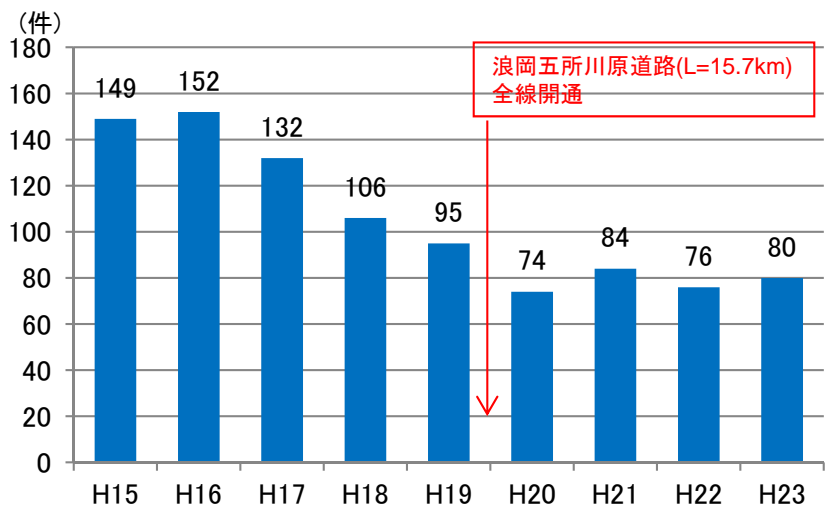


▲沿道大型商業施設立地箇所【①】

# 4. 道路交通の状況と課題 (国道101号の事故発生件数の推移)

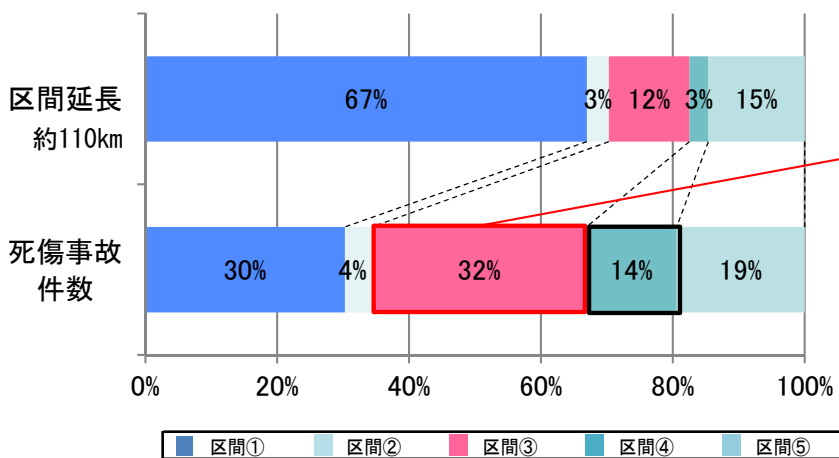
- ◆ 国道101号の死傷事故件数は、浪岡五所川原道路開通後の平成19年以降減少しており、近年は横ばいの状態
- ◆ 平成20年以降では国道101号で発生する事故の約3割が延長比約1割の対象区間で発生

▼ 国道101号全線の死傷事故件数推移



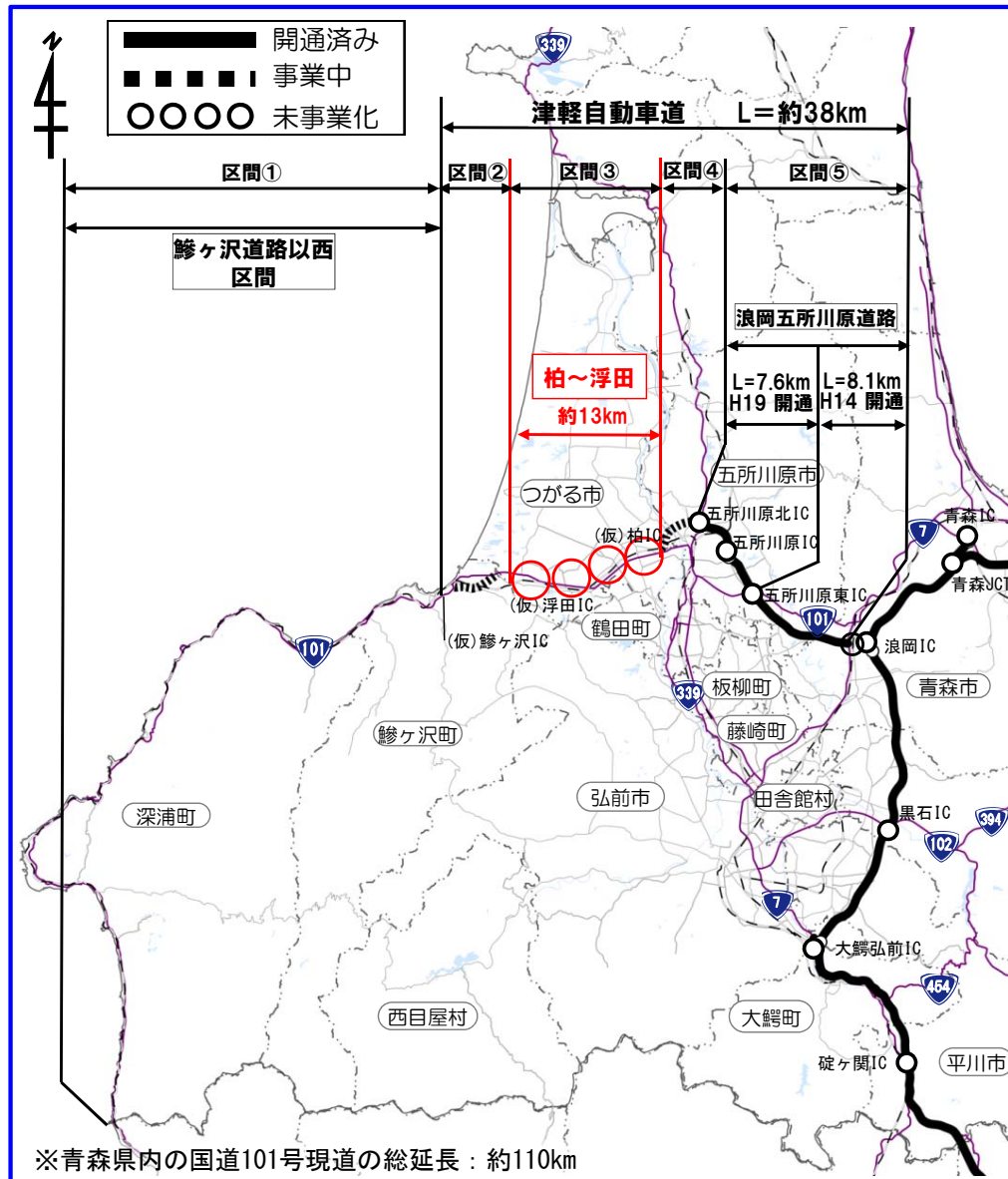
※資料 H15~H23: イタルダデータ

▼ 国道101号各区間の延長・死傷事故件数割合



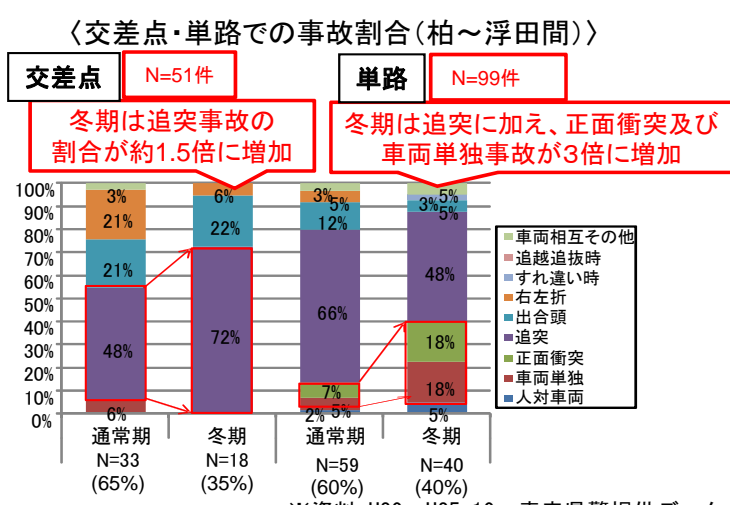
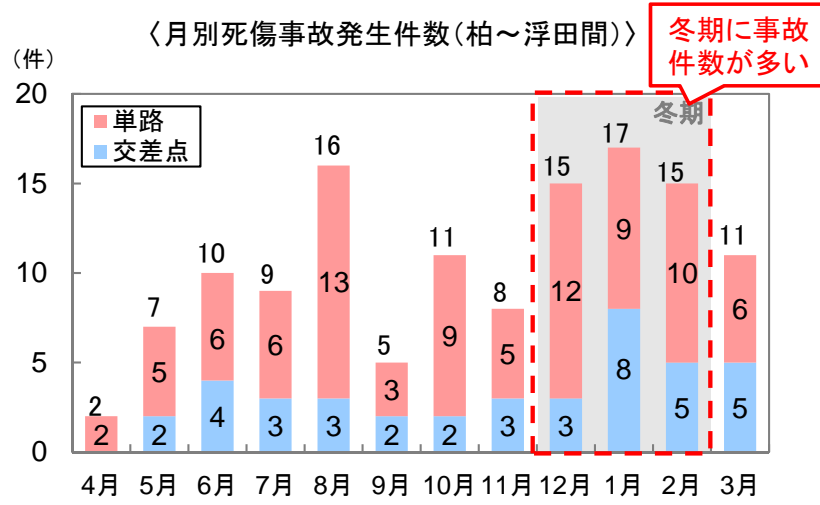
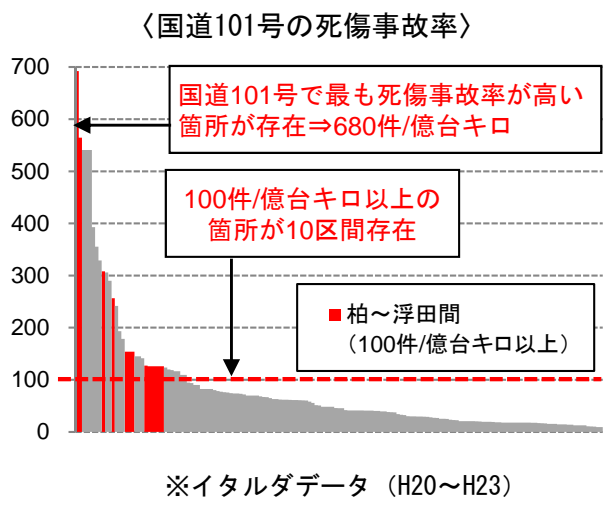
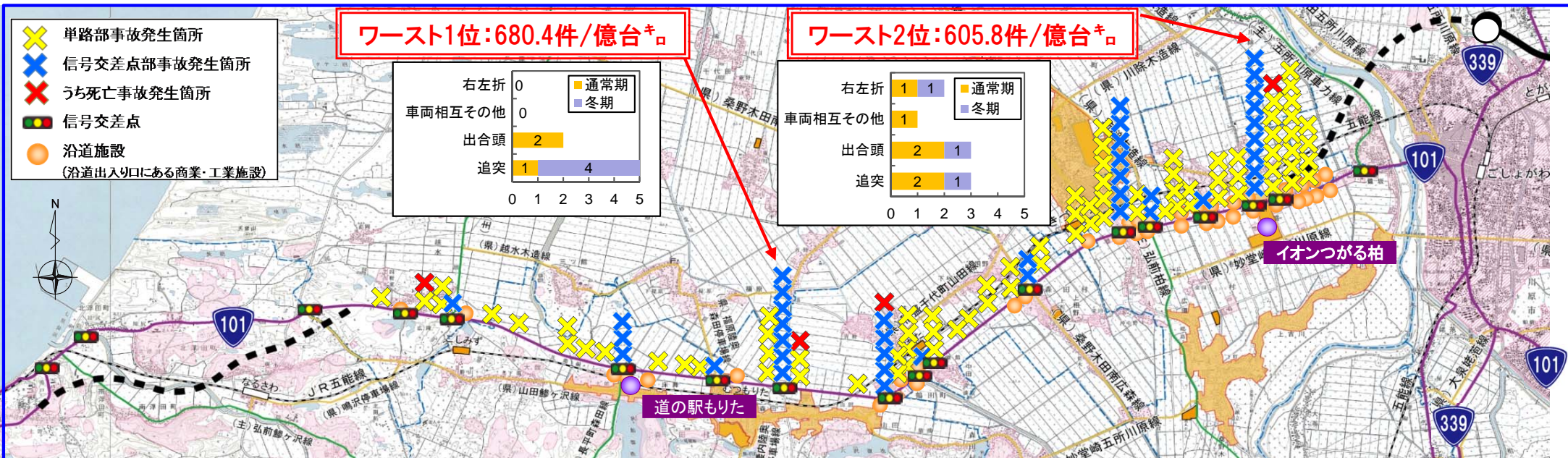
柏~浮田は、未事業化区間の中で区間延長の割合に対して死傷事故件数が多い

※資料 H20~H23: イタルダデータ



# 4. 道路交通の状況と課題 (当該区間の事故発生状況)

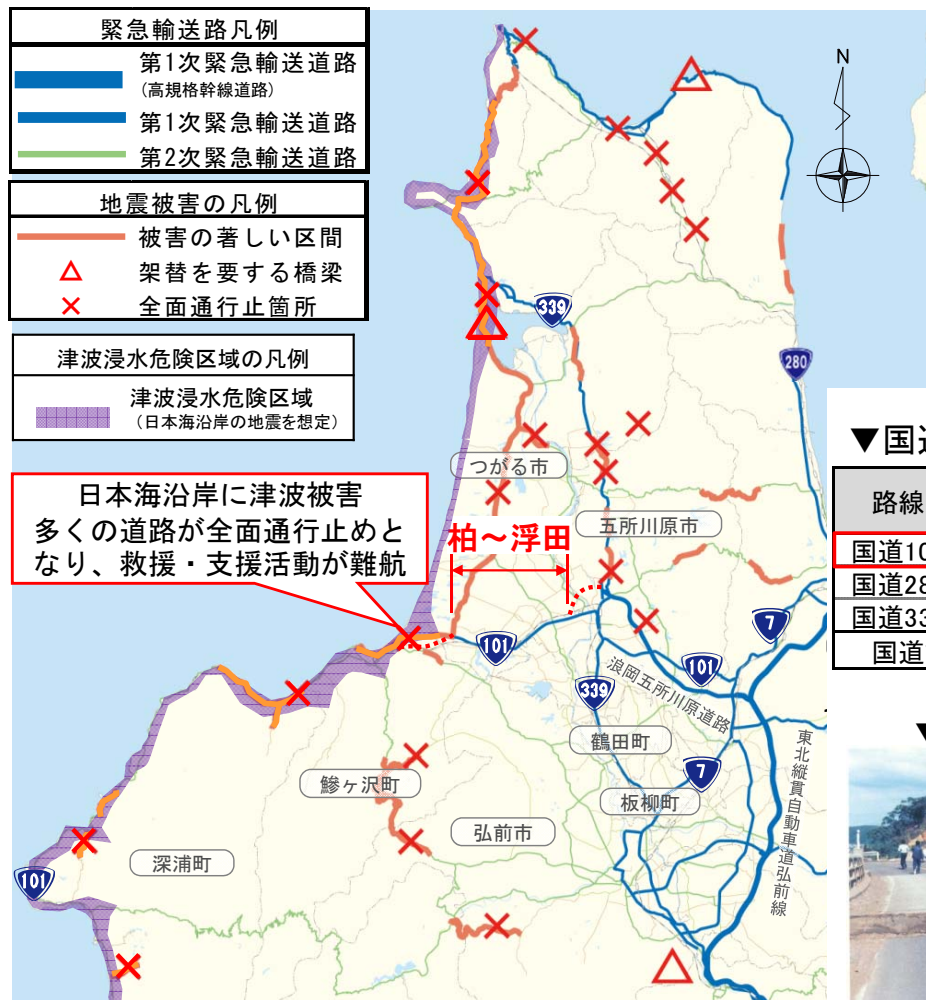
- ◆対象区間には、国道101号で死傷事故率が最大となる信号交差点が2カ所存在
- ◆死傷事故は交差点や沿道施設が多い箇所が多く発生
- ◆対象区間では冬期に事故が多く発生しており、交差点では冬期の追突事故割合が通常期に比べ約2倍に増加



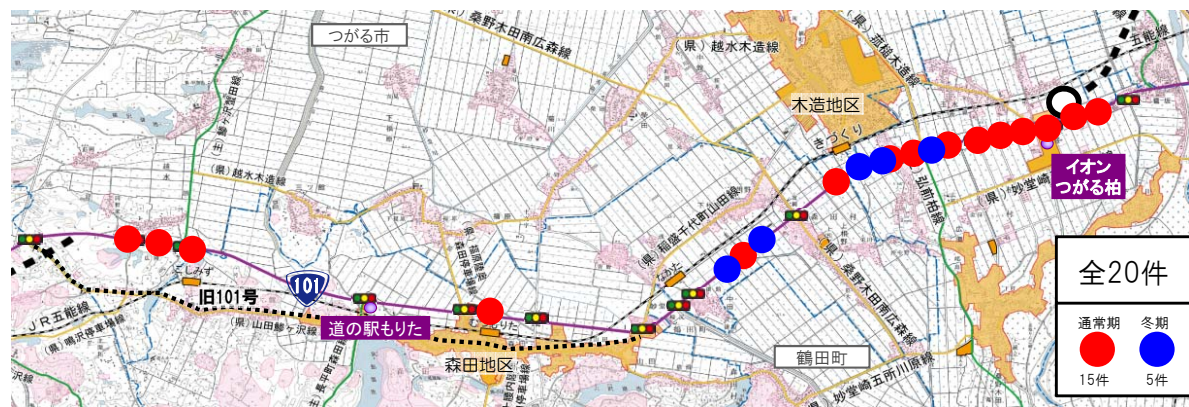
# 4. 道路交通の状況と課題 (自然災害：地震・津波)

- ◆ 国道101号は、県都青森市と日本海側地域を結ぶ、唯一の緊急輸送道路
- ◆ 昭和58年に発生した日本海中部地震では、国道101号の多くの箇所が被災したほか、過去10年で事故などによる全面通行止めが20回発生
- ◆ 区間の約6割に岩木川氾濫による想定浸水域が存在するなど緊急輸送路としての機能が脆弱

## ▼日本海中部地震における通行止め箇所



## ▼国道101号の全面通行止め発生箇所 (H15~H24)



## ▼国道の被災箇所数と被害額

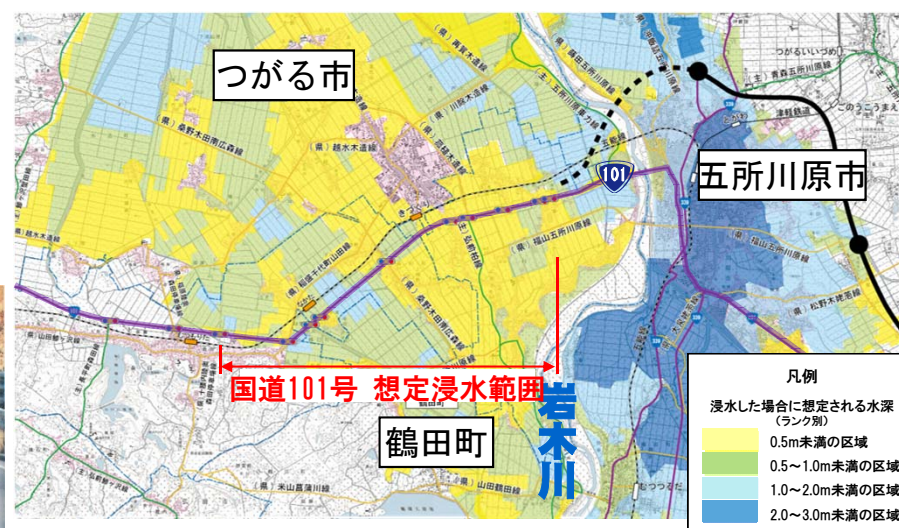
路線名	被災箇所数	被害額 (百万円)
国道101号	51	512
国道280号	10	60
国道339号	62	717
国道計	139	1440

※資料：青森県土木五十年史

## ▼国道101号の被災状況



## ▼岩木川の氾濫による想定浸水域と通行止め想定箇所



出典：日本海中部地震の記録(青森県)

出典：岩木川洪水ハザードマップ(青森河川国道事務所)

# 5. 政策目標の設定（地域・道路交通の課題とその原因）

		課題	原因
地域について	医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三次救急医療施設までの所要時間が60分を超過（青森県で2番目に遠い）</li> <li>・ 冬期の救急搬送は特に時間を要する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道101号の速達性が不十分 ⇒ 冬期の積雪による幅員狭小や地吹雪による視界不良などで走行速度が低下</li> </ul>
	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送ルート上に市街地の主要渋滞箇所、冬期の堆雪による幅員狭小や視程障害などの問題があり輸送の信頼性が低い</li> <li>・ 県内の他地域に比べ事業所の立地数が少なく、企業ニーズにある最寄ICなどへの所要時間が長いため企業誘致に不利</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産地と消費地を結ぶネットワークが脆弱 ⇒ 主要地域間に高速道路の未整備区間が存在</li> </ul>
	観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICや新幹線駅など交通拠点からの時間距離が遠く、県内の他地域に比べ観光入込客数が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光地と交通拠点間を結ぶネットワークが脆弱 ⇒ 主要観光地と交通拠点間に高速道路の未整備区間が存在</li> </ul>
道路について	速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常期の旅行速度は45km/hであるが、地吹雪時は1/3の15km/h程度まで低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要幹線道路としての機能低下 ⇒ 冬期の積雪による幅員狭小や地吹雪による視界不良などで走行性・安全性が低下 ⇒ 沿道施設（商業・工業・サービス業）が連続 ⇒ 信号交差点、農地からの出入り箇所が多く存在</li> </ul>
	渋滞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信号交差点の連続や大型商業施設、冬期の影響などにより主要渋滞箇所が3箇所存在</li> </ul>	
	事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死傷事故率100件/億台<sup>キロ</sup>以上の箇所が10箇所存在</li> <li>・ 区間最大では680件/億台<sup>キロ</sup>（国道101号ワースト1位）</li> </ul>	
	緊急輸送路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象地域で第1次緊急輸送道路は国道101号だけであるが、日本海側に津波浸水危険区域と岩木川氾濫による想定浸水区域が存在する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時等の代替性が不十分 ⇒ 信頼性の高い幹線道路ネットワークが脆弱</li> </ul>

# 5. 政策目標の設定（地域の将来像）

## 未来を変える挑戦 —強みをとことん、課題をチャンスに—

（青森県の最上位計画である『青森県基本計画』（計画期間2014～2018）より抜粋）

<p>質の高い地域医療サービスの提供</p>	<p>◆医療連携体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体病院の医療機能の再編・ネットワーク化を通じ、中核病院の維持・充実を図るとともに、<b>地域における医療機関の連携強化</b>を進めます。</li> <li>県内3救命救急センターやドクターヘリの効果的な運用を進めるとともに、<b>医療機関の体制整備や連携強化を進め、救急医療体制の充実・強化</b>に取り組みます。</li> </ul>
<p>安定した雇用の確保と県民の活動を支える基盤の整備</p>	<p>◆産業や生活を支える交通・情報通信基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道新幹線の開業効果を地域に波及させるため、交通事業者などと連携し、<b>各地へのアクセス向上など、二次交通の利便性向上及び案内機能の強化</b>に取り組みます。</li> <li><b>幹線道路ネットワークや港湾物流拠点などの整備を促進</b>します。</li> </ul>
<p>災害や危機に強い人づくり、地域づくり</p>	<p>◆安全・安心な県土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>命を守ることを最優先にした防災インフラの整備</b>などに取り組みます。</li> <li><b>道路、河川、海岸、土砂災害危険箇所などの整備・修繕・更新</b>を進めます。</li> </ul>

## 地域別計画（西北地域）

（『青森県基本計画』における地域別計画より抜粋）

<p>消費者志向で稼ぐ農林水産業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心など、消費者志向に対応した<b>産品づくりとそのブランド化</b>、及びそれらを推進する<b>人財の育成</b></li> <li>農林水産業を支える<b>基盤の整備</b>を通じた環境の<b>保全・再生の推進</b></li> </ul>
<p>チャンスを生かし、地域の人々が主役となる観光の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>奥津軽（仮称）駅からの観光ルートの開発と新青森駅からの誘客</b>の強化をめざした<b>地域資源の発掘、観光コンテンツ化</b></li> </ul>
<p>普段から健康を意識する地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>中核病院と身近な医療機関の役割分担</b>（つがる総合病院とかかりつけ医の役割分担）の周知と適切な<b>医療連携の推進</b></li> </ul>

# 5. 政策目標の設定（地域の将来像）

## 五所川原市総合計画 ー後期基本計画（H23～H26）ー

次世代に受け継ぐ交通体系の整備	高速交通体系及び地域ネットワークの整備	<u>津軽自動車道建設整備促進に向けた要望活動</u>
健やかな暮らしを支える 保険医療体制の充実	地域医療体制の充実	<u>自治体病院機能再編成の推進、救急医療体制の整備</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活力ある商工業の振興</li> <li>・活力ある観光産業の振興と魅力あふれる観光地の形成</li> </ul>	工業団地への企業立地の推進	地域に根差す <u>企業誘致の推進</u>
	観光ルートの充実と情報発信 広域観光の活性化	<u>観光ルートの充実</u> 、観光情報の発信 東北新幹線全線開業効果を広域的に波及させる、 <u>広域観光の振興</u>

## つがる市総合計画 ー後期基本計画（H23～H27）ー

潤いと誇りに満ちた 活力ある産業づくり (産業・経済)	農林水産業の振興	生産基盤の整備・充実、経営基盤の強化、販路の拡大、ブランド化戦略の推進
	観光の振興	つがる市特有の自然・文化・産業を活かした観光開発、ホスピタリティの向上、観光インフラ・レクリエーション施設の整備、メディアを活用した戦略的な情報発信
	雇用創出の促進	<u>企業等誘致の優位性の確保</u> 、起業に対する支援の充実
活発な交流とふれあいの拠点づくり (都市基盤整備)	道路ネットワークの整備促進	<u>主要幹線道路の整備</u> 、生活道路の整備
お互いを認め合い支え合う共生のこころづくり (保険・医療・福祉)	医療体制の充実	<u>地域医療の充実</u> 、 <u>高度救急医療の充実</u>

## 第5次鱒ヶ沢町総合計画 ー前期基本計画（H23～H27）ー

良好で美しいまちづくり (社会・都市基盤の整備)	利便性の高い交通環境の形成に努めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な道路網の整備に努めます</li> <li><u>高速・広域交通の対応、幹線道路の整備に係る要望</u></li> </ul>
いきいきと暮らせる安全・安心のまちづくり (生活環境の整備、健康福祉の充実)	生命や財産を守るまちを目指します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の安全確保に努めます</li> <li><u>地震、津波、風水害、集中豪雨等災害対策、広域救急体制の構築</u></li> <li>・災害に対する万全な備えを整えます</li> <li>治水砂防施設整備の促進、<u>地域防災計画の見直し</u></li> </ul>
	健康で元気に暮らせるまちを目指します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療の確保により、安心した暮らしの実現を目指します</li> <li>サテライト病院の設置と機能的運営、医療機器の導入及び施設整備による医療体制の充実</li> </ul>

## 5. 政策目標の設定（整備方針の検討）

□地域や道路交通の課題や原因、地域の将来像等を踏まえて、以下の政策目標を設定

□これらの目標を達成するための対策案として、当該地域における整備方針を検討

### ○地域や道路の状況と課題、地域が目指す将来像を踏まえ、当該地域の政策目標を設定

地域・道路の状況と課題

地域の将来像

- 医療施設への速達性向上
- 冬期交通環境の改善
- 地域振興の支援
- 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 安全な走行空間の確保

### ○対策案の検討方針

#### 【医療関連】

高次施設と地域の速達性を向上し、救急搬送時の定時性を確保する道路とは

#### 【冬期交通環境】

吹雪や地吹雪による視程障害や、堆雪による速度低下を防ぎ冬期の厳しい気象状況下でも信頼できる道路とは

#### 【地域振興関連】

観光地と交通拠点、生産地と消費地の連絡性を高め、地域の観光や産業の活性化を促進する道路とは

#### 【災害関連】

日本海沿岸部津波被災時等にも救援ルートとしての機能を有する道路とは

#### 【走行空間】

沿道施設や出入り交通との錯綜を防ぎ、交差点での事故防止など安心して利用できる道路とは

既存の道路ストック活用の可能性も含め、複数の対策案を設定し比較検討



# 6. 今後の手続きの進め方

□ 計画段階評価手続きの進め方は以下のとおり

**(今回)**



【平成26年8月29日】

**第1回 東北地方小委員会**

- 地域や道路交通の現状・課題
- 政策目標の設定
- 計画段階評価手続きの進め方
- 意見聴取方法

**意見聴取 (第1回)**

- 地域、道路の課題
- 政策目標
- 道路整備の必要性
- 意見聴取方法《アンケート》  
対象：道路利用者  
地域住民  
企業
- 《ヒアリング》  
対象：企業等

**第2回 東北地方小委員会**

- 意見聴取結果の確認
- 対策案の考え方
- 対策案の検討・ルート帯
- 意見聴取方法

**意見聴取**

- 対策案選定時に重視する項目
- 意見聴取方法《アンケート》  
対象：道路利用者  
地域住民  
企業
- 《ヒアリング》  
対象：企業等

**東北地方小委員会**

- 意見聴取結果の確認
- 対策方針案について

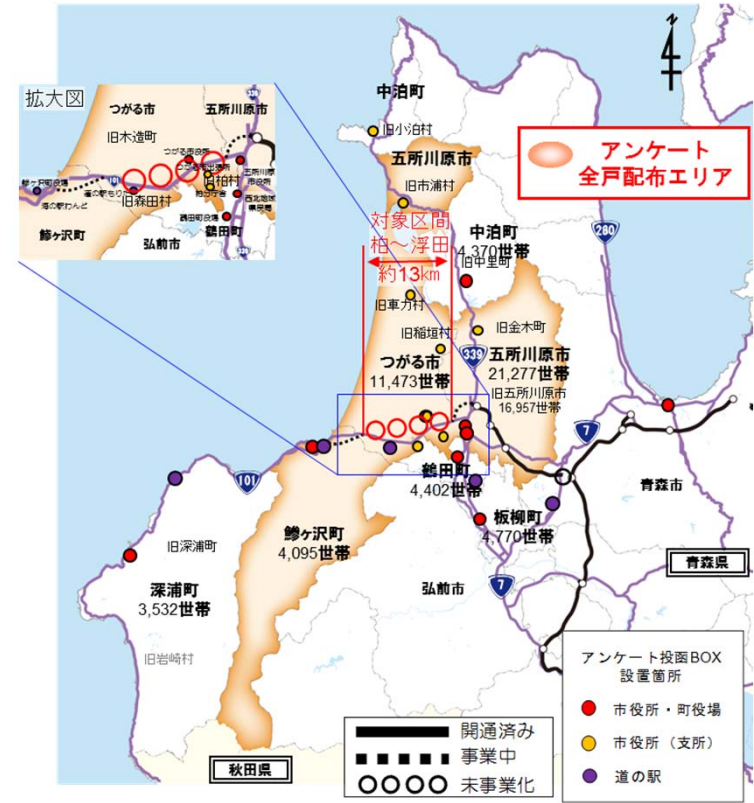
対応方針の決定

地方小委員会

# 7. 地域からの意見聴取方法

## ○意見聴取の概要

- 周知方法 : 記者発表、ポスター掲示、新聞広告、HPへのバナー貼り付け、市町村広報誌
- 配布方法 : ① 対象地域は全戸配布  
② ①以外は、役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置  
③ HP上でのWEBアンケート
- 回収方法 : ① 郵便ポスト  
② 役場や道の駅等への投函ボックスの設置  
③ HP上での回答
- 対 象 : 下表のとおり



## ○意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法				
ヒアリング	【企業及び関係団体】			インタビュー形式でのヒアリング調査
	企業	地元企業、物流・観光事業者など		
	関係団体	商工会議所、トラック協会、JA、救急医療機関、観光協会など		
アンケート	【地域住民及び道路利用者】			自治体広報誌と同時全戸配布 (約36,900世帯)
	地域住民	五所川原市(約21,300世帯)、つがる市(約11,500世帯) 鱈ヶ沢町 (約 4,100世帯)		
	道路利用者	周辺市町村役場(中泊町、鶴田町、板柳町、深浦町)及び道の駅(もりた、なみおか、つるた、ふかうら)、海の駅わんど		
道路利用者		Web(HP)掲載による実施		

# 7. 地域からの意見聴取方法

## ○アンケート案

### ①調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所の提示・今後の手続きの流れ

### 津軽自動車道(柏～浮田)の計画検討に関するアンケート(第1回)

津軽自動車道は、青森市から五所川原市を通過して鯉ヶ沢町に至る延長約38kmの高規格幹線道路です。  
 本調査は、未事業化区間である柏～浮田間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするためにアンケート調査を行うものです。  
 今回のアンケート調査では、地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見を聞きたく、ご協力をお願いします。

**津軽自動車道**

- 鯉ヶ沢道路 (H27供用予定) 3.7km
- 計画段階評価区間 柏～浮田 (H27供用予定) 約13km
- 五所川原西バイパス (H27供用予定) 3.8km
- 漁川五所川原道路 (H27供用予定) 15.7km
- 漁川IC～国道7号交差点 (未事業化) 約2km

※本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価※における地域からの意見として「社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会」に報告いたします。

**今回のアンケートはここです。**

**計画段階評価の流れ**

東北地方小委員会 → アンケート調査等 → 東北地方小委員会 → アンケート調査等 → 東北地方小委員会 → 新規採択評価 → 事業化

●計画段階評価の詳細情報や東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページをご覧ください。  
 URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/road/tr/shoulinkai/index.html>

●インターネットによる回答も可能です。  
 URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/road/tr/shoulinkai/index.html>  
 東北地方整備局、青森河川国道事務所、青森県のほか、西北五地域の各市町村ホームページのバナーからもご利用いただけます。

**津軽自動車道(柏～浮田)ご意見募集**  
 ( 月 日まで)

●アンケートに関するお問い合わせ  
 青森河川国道事務所 問合わせ二課  
 TEL:017-734-4570 FAX:017-222-2384

国土交通省 東北地方整備局  
 青森河川国道事務所  
 青森県 五所川原市 つがる市 鯉ヶ沢町

### ②国道101号(柏～浮田間)の現状

⇒現国道101号における道路交通及び地域の課題の提示

### 対象区間の現状

**対象区間の現状**

鯉ヶ沢道路 約4km(事業中) | 柏～浮田 約13km | 五所川原西バイパス 約4km(事業中)

**一般国道101号(対象区間)で考えられる主な課題**

- 1) 冬期の道路状況**
  - 冬期は積雪により道路の幅が狭くなっているほか、地吹雪によって視界が悪くなるなど、安全な運転が困難な状況になっています。
- 2) 医療施設へのアクセス**
  - 重篤な症状で救急搬送が必要な医療施設(青森市など)まで、1時間以上かかっており、冬期はさらに時間がかかっています。
  - 地域の中核病院「つがる総合病院(H26.4移転開業)」へ通院や救急搬送の増加が見込まれますが、30分以上かかっています。
- 3) 観光拠点へのアクセス**
  - 高速道路のインターチェンジや新幹線駅までの時間が、青森県内の観光拠点よりも長かかっています。
- 4) 災害への備え**
  - 内陸と日本海沿岸部を繋ぐ唯一の緊急輸送ルートで、昭和58年の日本海中部地震による津波被害時にも、大きな役割を果たしました。
  - しかし、冬期交通の課題や事故による通行止めが発生しているほか、岩木川氾濫による想定浸水区域があります。

# 7. 地域からの意見聴取方法

## ○アンケート案

### ③質問事項

- ⇒ 国道101号及び地域の現状における課題
- ⇒ 道路整備に求められる機能の確認

**②ページの内容をご確認頂き、アンケートにお答えください。**

世帯配布のアンケートは、各世帯1部の送付としております。さらにご協力頂ける場合は、お手数ですがアンケート票をお近くの市町村役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用頂くか、インターネットからの回答も可となっております。

●津軽自動車道(柏～浮田)付近の現在の国道101号についてお伺いします。以下の設問にお答えください。

**■問1 国道101号をどのくらいの頻度で利用しますか？※1つ選ぶ**

1. 毎日                      2. 週に数回程度  
3. 月に数回程度          4. ほとんど利用しない  
5. 利用したことがない

**■問2 国道101号の主な利用目的は何ですか？※複数回答可**

1. 通勤・通学              2. 通院  
3. 家事・買物              4. 業務(営業・運送等)  
5. 観光・レジャー        6. その他

**■問3-1 国道101号の柏から浮田間(対象区間)において、どのような交通問題や課題を感じていますか？※複数回答可**

1. 信号交差点や沿道からの出入り箇所が多い  
2. 目的地までの時間がかかる(冬期には速度が低下)  
3. 交通事故のリスクが高い  
4. 通行止め時に長時間の足止めなどとなる  
5. 道路の幅が狭く走りにくい  
6. 農耕車や歩行者、軽車両(自転車等)との混在が危険  
7. 積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い  
8. その他 ※回答欄の〔 〕内にご記入下さい

**■問3-2 「問3-1」でお答え頂いた中で、場所や時期なども含め具体的な実体験を教えてください。**

※場所について②ページのA～Oの区間で教えて下さい

**■問4 当該地域(対象区間)には、どのような機能を持つ道路が求められますか？※複数回答可**

1. 冬期の影響を受けにくいこと  
2. 救急病院に早く行けること  
3. 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと  
4. 通行止めになった時でも代替路を確保できること  
5. 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること  
6. 観光交流を促進すること  
7. 交通事故が少なく安全に走行できること  
8. その他 ※回答欄の〔 〕内にご記入下さい

**■問5 これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。**

回答欄にご自由にお書きください。

**< アンケート回答例 >**

**【表】**

郵便はがき

〒0300822

青森県青森市中央三丁目20番38号  
国土交通省 東北地方整備局  
青森河川国道事務所 調査第二課行

〒0300822

あなたについてお聞かせください。

年齢 10代 20代 30代 40代  
50代 60代 70代以上

職業 会社員・公務員・自営業・学生      性別 男 女  
主婦・無職                                      その他( )

住所 [ 青森 ] 郡・市・町・村 [ 青森 ]  
[ つがる ] 地区名 [ 森田 ]

運転免許 あり なし

※記入欄が不明な場合、ご記入ください。ご記入しない場合は、ご記入ください。

**【表】**

・□にはレ点をご記入下さい。  
・その他を選択した場合は下の〔 〕内に詳細をご記入下さい。  
・自由回答欄には、ご自由にご意見をご記入下さい。

アンケート回答欄

問1	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7
問2	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	〔 〕	
問3-1	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7
問3-2	〔 3 〕 〔 5 〕 〔 8 〕						
問4	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7
問5	〔 〕						

・□にはレ点をご記入下さい。  
・その他を選択した場合は下の〔 〕内に詳細をご記入下さい。  
・問3-1で選択した項目について具体的な体験をご記入下さい。  
・ご自由にご意見をお書き下さい。

◆返信方法 ※下記のいずれかで返信してください。

①お近くの郵便ポストに投函してください。

②国道事務所、西北五地域の各市町村役場並支所、道の駅(もりた・つるた・なみおか)、海(わんど)等の回収ボックスに投函してください。

◆締切 平成●年●月●日までにお願います。

ご協力ありがとうございました。

